

LB-F 50

LB-F 75

LB-F 75A

LB-F 100A

ソフトウェア&ユーティリティ ユーザーズガイド

～ *PostScript* プリンタドライバ編 ～

マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・ 操作を行なう前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・ このマニュアルはいつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

来歴表

マニュアル Rev.	追加・変更内容	変更年月日
00	初版ー全ページ	2003 年 4 月
01	ii(01)、iv(01)、1-2(01)、1-3(01)、6-1(01) ～ 6-12(01)、7-1(01) ～ 7-14(01)	2003 年 9 月
02	表紙、ii(02)、iii(01)、iv(02)、1-2(02)、1-3(02)、2-1(01) ～ 2-14(01)、3-8(01)、3-11(01)、4-2(01) ～ 4-4(01)、4-8(01)、5-4(01)、5-8(01)、6-10(02)、7-14(02)	2004 年 2 月
03	表紙、ii(03)、6-4(02)、6-6(02)、6-11(02)、7-2(02)、7-3(02)、7-5(02) ～ 7-8(02)、7-14(03)	2004 年 10 月
04	表紙、ii(04)、1-2(03)	2005 年 1 月
05	1-2(04)、1-3(03)、2-4(02)、2-7(02)、3-4(01)、3-7(01)、3-9(01)、4-5(01)、4-9(01)	2006 年 1 月
06	表紙、ii(05)、iii(02)、iv(03)、1-2(05)、1-3(04)、 「第 2 章 Windows Vista からの印刷」の追加に伴い第 3 章以降の全ページ変更	2007 年 7 月
07	表紙、ii(06)、iii(03)、1-2(06)、1-3(05)、2-1(01) ～ 2-18(01)、3-5(03)、4-4(03)、4-5(01)	2008 年 11 月
08	表紙、ii(07)、iii(04)、1-2(07)、1-3(06)、2-1(02) ～ 2-18(02)、3-10(04)、4-4(04)、4-5(02)	2010 年 6 月
09	表紙、ii(08)、1-2(08)、2-6(03)、2-14(03)、3-10(05)、5-2(04)	2011 年 10 月
10	・社名変更 - 表紙、iii(09)、5-2(05)、5-3(04)、5-5(04)、5-7(04)、5-8(04) ・Windows 8/Server 2012 追加 1-3(07)、2-1(03)、2-2(03)、2-3(03)、2-4(03)、2-6(03)、2-9(03)、2-10(03)、2-11(03)、2-13(03)、2-15(03)、2-20(03)、4-4(05)、4-6(03) ・Windows 2000 削除 1-3(07)、3 章全ページ変更、4-4(05)、4-8(03) ・ロゴ画像変更 - 裏表紙 ・画像の OS 表記削除 1-2(09) ・手順修正 2-15(03)、2-18(03)、2-19(03)、3-11(03)、3-12(03) ・誤記修正 2-22(03)、5-11(03)、5-13(03) ・空白ページ追加 - vi(00) ・目次更新 - iv(05)	2013 年 10 月

マニュアル Rev.	追加・変更内容	変更年月日
11	・著作権情報変更 表紙、iv(10) ・章 / 項のタイトル変更 v (06)、1-3(08)、2-1(04)、2-2(04)、2-9(04)、4-6(04) ・Windows 8.1/Server 2012 R2 追加 1-3(08)、2-2(04)、2-3(04)、2-4(04)、2-9(04)、2-10(04)、2-11(04)、 2-13(04)、2-15(04)、2-20(04)、4-4(06)、4-6(04) ・対応 OS の表記順の変更 1-3(08) ・新規記載追加 2-2(04)、2-3(04)、2-5(03)、2-6(04)、2-9(04)、2-13(04)、2-20(04)、 4-4(06)、4-6(04) ・誤記修正 iv(10) ・来歴追加 ii	2015 年 1 月
12	・著作権情報変更 表紙、iv(11) ・Windows 10 追加 1-3(09)、2-2(05)、2-4(05)、2-6(05)、2-9(05)、2-10(05)、2-12(03)、 2-13(05)、2-15(05)、2-20(05)、4-4(07)、4-6(05)、4-7(03) ・新規記載追加 2-3(05)、2-5(04)、2-6(05)、2-9(05)、2-10(05)、2-13(05)、2-20(05)、 4-4(07)、4-6(05)	2016 年 1 月

はじめに

このマニュアルは、以下のポストスクリプトオプション付きプリンタに添付される「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM の使用方法、PostScript プリンタドライバのインストール方法および操作方法について説明しています。

モデル名	形名	オプション
LB-F50	LB035AHK	ポストスクリプト
LB-F75	LB050AHK	ポストスクリプト
LB-F75A	LB050AR2	ポストスクリプト
LB-F100A	LB068AR2	ポストスクリプト



注意

- ・ 操作する前に、このマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。
- ・ このマニュアルは必要なときすぐ参照できるよう、使いやすい場所に保管してください。
- ・ このマニュアルの内容の一部または全部を無断掲載することは禁止されています。
- ・ 本製品、本マニュアルまたはソフトウェアの欠陥による直接または間接的に生じた損害については一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。

商標について

Copyright (c) 2013-2016 RICOH INDUSTRY Co., Ltd.
All Rights Reserved.

このマニュアルおよびマニュアル中に記載されている内容はリコーインダストリー株式会社によりすべての著作権が保存されています。このマニュアルの一部または全部を、電気、機械、磁気、光学、化学、文書その他のいかなる形式または方法により、無断で使用、複写、転写、検索システムへの保存またはコンピュータ言語を含めいかなる言語に翻訳することはできません。

Adobe、PostScript は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標もしくは商標です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標もしくは商標です。
Macintosh、Mac OS は米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
NetWare は米国ノベル社の登録商標です。

その他、記載されている製品名、会社名は、各社の登録商標もしくは商標です。

目次

第 1 章 ご使用の前に

- 1.1 ソフトウェア & ユーティリティ CD-ROM について 1-2
- 1.2 プリンタドライバについて 1-3
 - 1.2.1 プリンタドライバの動作環境 1-3
 - 1.2.2 プリンタドライバの選択 1-3

第 2 章 Windows からの印刷

- 2.1 プリンタとの接続確認 2-2
- 2.2 LPR ポートの追加 2-6
- 2.3 Windows 添付 PostScript プリンタドライバのインストール 2-9
- 2.4 プロパティの表示 2-13
- 2.5 プリンタ共有 2-15
- 2.6 印刷するポートの変更 2-16
 - 2.6.1 LPR ポートを新規追加する場合 2-17
 - 2.6.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 2-19
- 2.7 プリンタドライバ初期値の変更 2-20
- 2.8 アプリケーションソフトからの印刷 2-22

第 3 章 Windows XP/Server 2003 からの印刷

- 3.1 プリンタとの接続確認 3-2
- 3.2 Windows XP/Server 2003 添付 PostScript プリンタドライバのインストール 3-4
- 3.3 プロパティの表示 3-7
- 3.4 プリンタ共有 3-8
- 3.5 印刷するポートの変更 3-9
 - 3.5.1 LPR ポートを新規追加する場合 3-10
 - 3.5.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 3-12
- 3.6 プリンタドライバ初期値の変更 3-13
- 3.7 アプリケーションソフトからの印刷 3-14

第 4 章 プリンタドライバの設定

- 4.1 プリンタ固有機能 4-2
- 4.2 カスタムサイズ用紙に印刷するには 4-4
- 4.3 プリンタドライバのバージョンを確認するには 4-6
 - 4.3.1 Windows 添付 PostScript プリンタドライバ 4-6
 - 4.3.2 Windows XP/Server 2003 添付 PostScript プリンタドライバ 4-8

第 5 章 Mac OS X からの印刷

- 5.1 プリンタ記述 (PPD) ファイルのインストール 5-2
- 5.2 プリンタの追加 5-4
 - 5.2.1 AppleTalk プリンタの追加 5-4
 - 5.2.2 IP プリンタの追加 5-6
- 5.3 プリンタドライバの設定確認および変更方法 5-8
- 5.4 アプリケーションソフトからの印刷 5-10

5.4.1 ページ設定	5-10
5.4.2 プリント設定	5-11
5.5 プリンタの機能	5-12
5.6 カスタムサイズ用紙に印刷するには	5-14

第 1 章

ご使用の前に

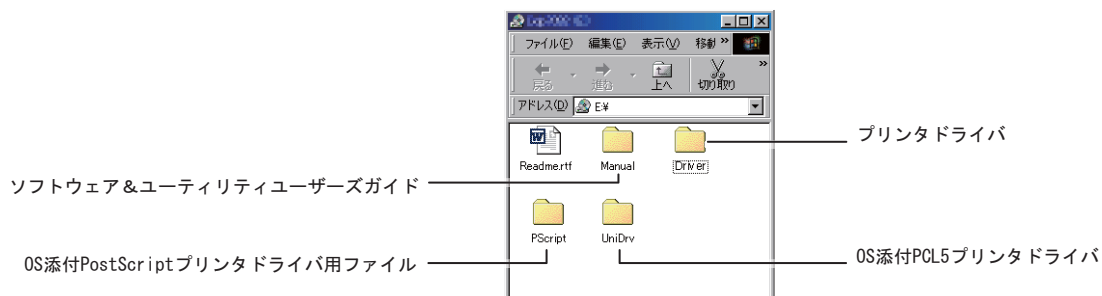
OG	A	00	
----	---	----	--

第1章 ご使用の前に

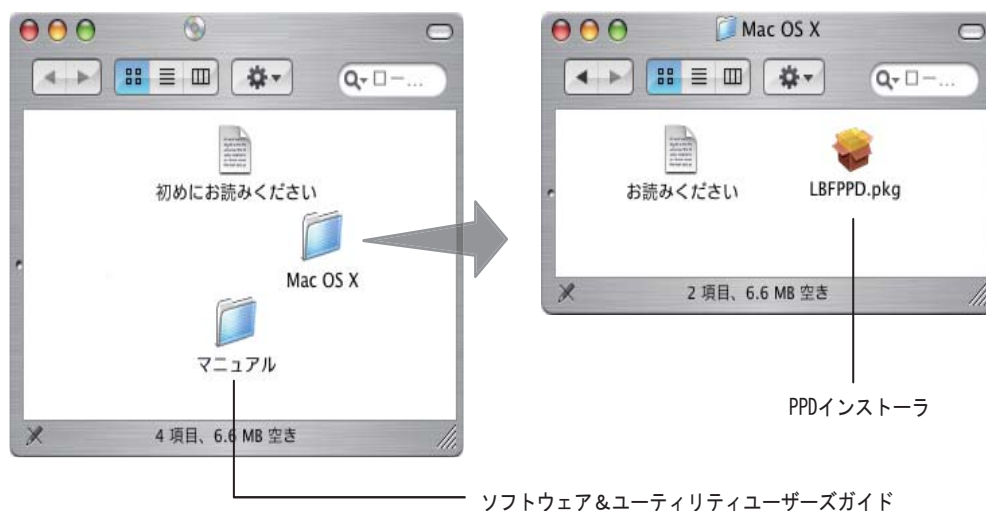
1.1 ソフトウェア&ユーティリティ CD-ROM について

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM には、次のようなソフトウェアやユーティリティが格納されています。

【Windows 用】



【Mac OS 用】



参考

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM は、Windows 用の ISO9660 フォーマットと、Mac OS 用の HFS フォーマットを持ったハイブリッド形式で記録されています。このため Windows が動作するコンピュータでは CD-ROM の Windows 用の領域が、Macintosh では CD-ROM の Mac OS 用の領域がそれぞれ自動的に読み出されます。



注意

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM 内の「Readme.rtf」ファイルには、このユーザーズガイドに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ等の使用上の注意事項が記述されています。「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM に格納されているソフトウェアやユーティリティをご使用の前にお読みください。



注意

「Windows 添付 PCL5 プリンタドライバ」および「当社製プリンタドライバ」の使用方法については「ソフトウェア & ユーティリティユーザーズガイド ～PCL5 プリンタドライバ編～」をご覧ください。

1.2 プリンタドライバについて

Windows などの基本ソフトが動作するコンピュータからご購入のプリンタに印刷するためには、“プリンタドライバ”と呼ばれるソフトウェアが必要となります。



PostScript プリンタドライバからご購入のプリンタに印刷する場合は、プリンタ本体にポストスクリプトが搭載されている必要があります。当社製プリンタドライバおよび Windows 添付 PCL5 プリンタドライバから印刷する場合は、「ソフトウェア & ユーティリティユーザーズガイド ～ PCL5 プリンタドライバ編～」をご覧ください。

1.2.1 プリンタドライバの動作環境

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM に格納されている PostScript プリンタドライバは、以下の基本ソフトが動作するコンピュータに組み込むこと（＝インストール）ができます。

- ◇ Microsoft Windows XP 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Vista 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2008 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 7 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 8 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2012 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 8.1 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2012 R2 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 10 日本語版
- ◇ 日本語版 Mac OS X v10.2.x 以降



印刷を行うコンピュータには、コンピュータ上で動作している基本ソフトの種類に応じて、個々にプリンタドライバをインストールします。



プリンタドライバは、コンピュータの基本ソフト上で動作するソフトウェアですが、次のような役割があります。

- (1) 印刷可能な用紙サイズやプリンタに搭載されているフォントなどのプリンタ情報を、アプリケーションソフトに伝達する。
- (2) 用紙サイズを選択など、プリンタ固有の機能を利用できるようにユーザインタフェースを提供する。
- (3) アプリケーションソフトから印刷が指示されると、アプリケーションソフト上の文書データを、プリンタで処理可能な印刷データに変換する。

1.2.2 プリンタドライバの選択

プリンタドライバのインストール方法や使用方法については、以下の説明箇所をご覧ください。

基本ソフト	プリンタドライバの種類	説明箇所
Windows Vista/ Server 2008/7/ Server 2008 R2/8/ Server 2012/8.1/ Server 2012 R2/10	PostScript プリンタドライバ	「第2章 Windows からの印刷」 「第4章 プリンタドライバの設定」
Windows XP/Server 2003	PostScript プリンタドライバ	「第3章 Windows XP/Server 2003 からの印刷」 「第4章 プリンタドライバの設定」
Mac OS X	PostScript プリンタドライバ	「第5章 Mac OS X からの印刷」

Windows 添付 PostScript プリンタドライバは、Windows システムに標準添付されているプリンタドライバです。

第 2 章

Windows からの印刷

OG	A	04	
----	---	----	--

第2章 Windows からの印刷

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 から印刷するためには、ご使用のコンピュータにあらかじめプリンタドライバをインストールする必要があります。以下の手順にしたがってプリンタとの接続確認を行い、LPR ポートの追加、プリンタドライバをインストールしてください。(Windows XP/Server 2003 の場合は、「第3章 Windows XP/Server 2003 からの印刷」を参照ください。)

2.1 プリンタとの接続確認

Windows からネットワーク経由でプリンタに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタドライバをインストールする前に、Windows のネットワーク設定、プリンタとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

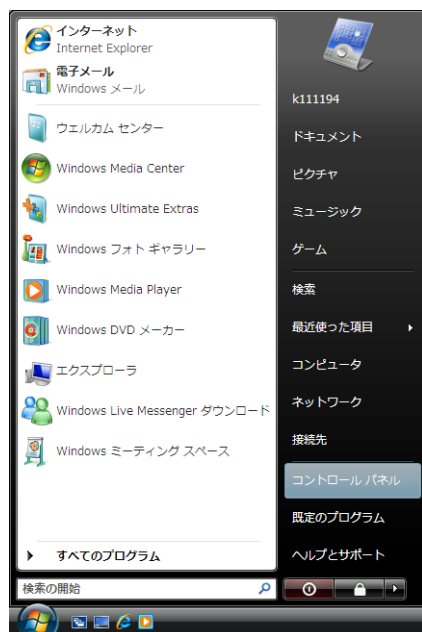
 **参考** プリンタ本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ユーザズ ガイド」をご覧ください。また、Windows からネットワーク経由でプリンタに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に Windows 同士の共有プリンタ経由で印刷する方法もあります。

1 プリンタとコンピュータをネットワークに接続して、プリンタの電源を入れます。

 **参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ～ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

2 Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

3 まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



(1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。



(2) [スタート] 画面右下隅に表示される「すべてのアプリ」アイコンを選択します。



(3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

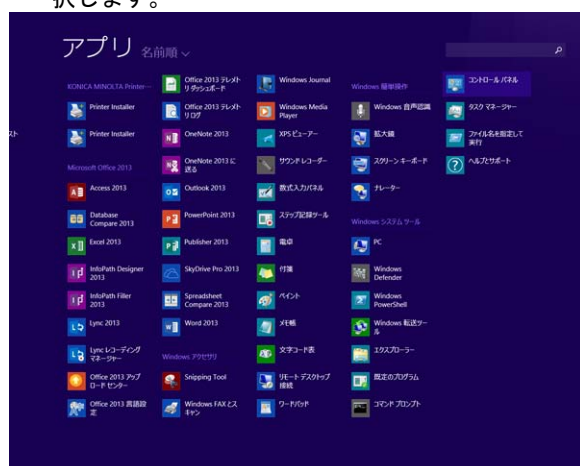


Windows 8.1 の場合は、以下 (1) ~ (2) の手順にてコントロールパネルを開きます。

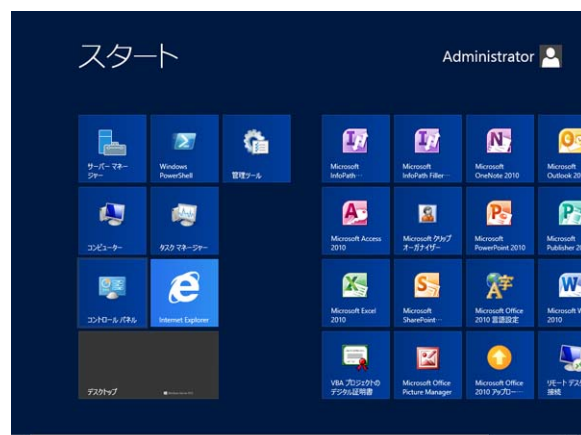
(1) [スタート] 画面左下隅に表示される [↓] アイコンを選択します。



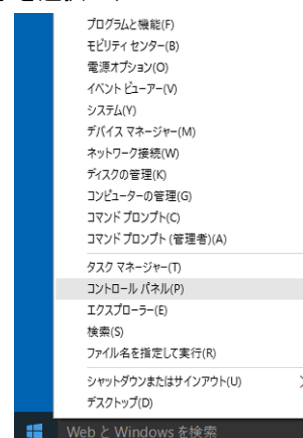
(2) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。



Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

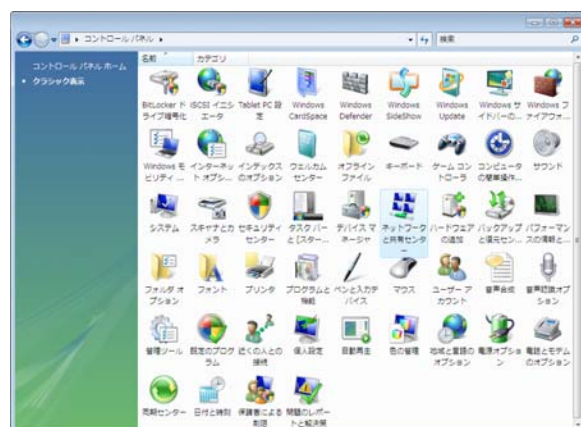


Windows 10 の場合は、画面左下隅に表示される Windows アイコンを右クリックし、[コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



4

[ネットワークと共有センター] アイコンをダブルクリックします。[ネットワークと共有センター] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。





Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。

5

「ローカルエリア接続」の「状態の表示」をクリックします。



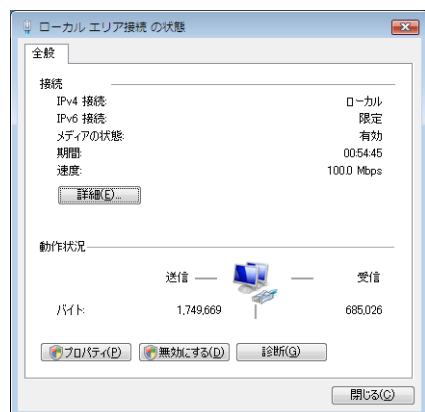
Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、「アクティブなネットワークの表示」の「ローカルエリア接続」をクリックします。



Windows 8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、「アクティブなネットワークの表示」の「イーサネット」をクリックします。

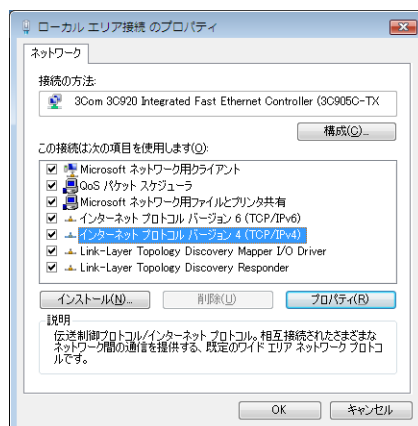
6

「プロパティ」ボタンをクリックします。



7

リストから「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックします。

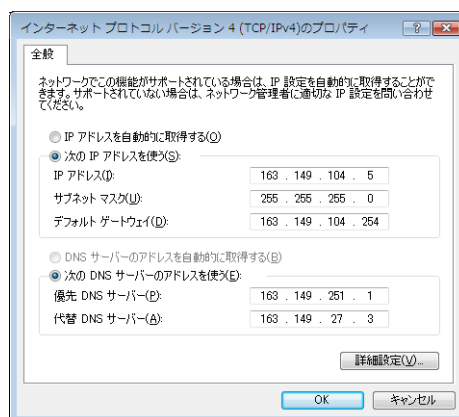


注意

「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示される前に、ユーザアカウントを確認するための「ユーザアカウント制御」ダイアログが表示される場合は、「続行」ボタンをクリックします。

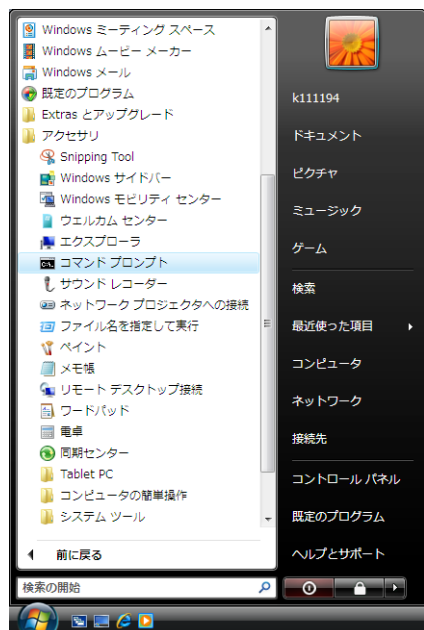
8

「IP アドレス」などの設定が正しく行われていることをご確認ください。

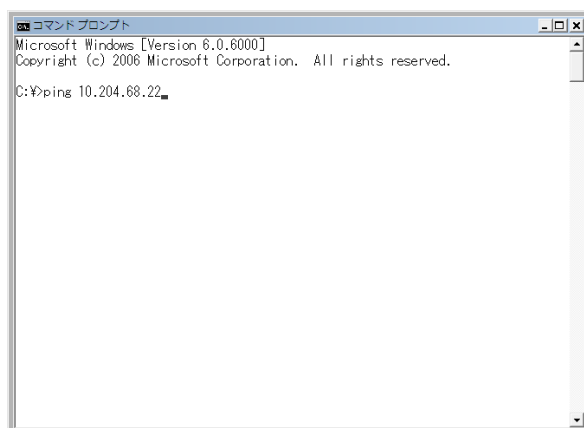


IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

- 9** 次に、プリンタと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。

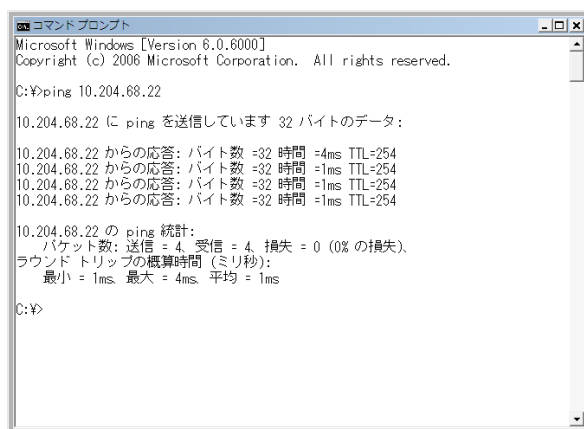


- 10** 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンタの IP アドレスを入力します。



- 参考** プリンタの IP アドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

- 11** 図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタドライバのインストールに進みます。「Request timed out.」が表示された場合は、プリンタの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンタまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。



- 参考** Windows 8/Server 2012 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコマンドプロンプトを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コマンドプロンプト] を選択します。

- 参考** Windows 8.1/Server 2012 R2 の場合は、以下 (1) ~ (2) の手順にてコマンドプロンプトを開きます。

- (1) [スタート] 画面左下隅に表示される [↓] アイコンを選択します。
- (2) [アプリ] 画面にて [コマンドプロンプト] を選択します。

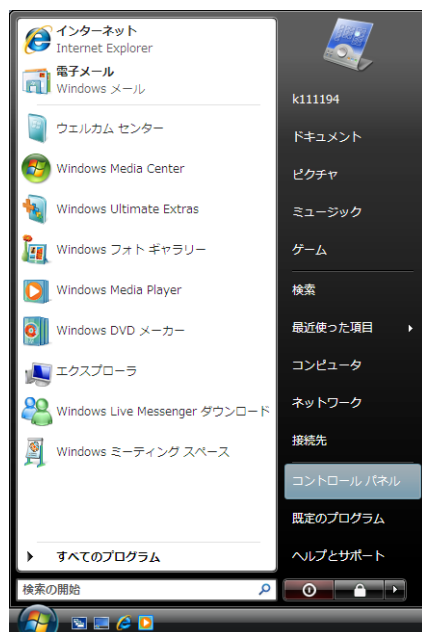
- 参考** Windows 10 の場合は、画面左下隅に表示される Windows アイコンを右クリックし、[コマンドプロンプト] を選択し、コマンドプロンプトを開きます。

2.2 LPR ポートの追加

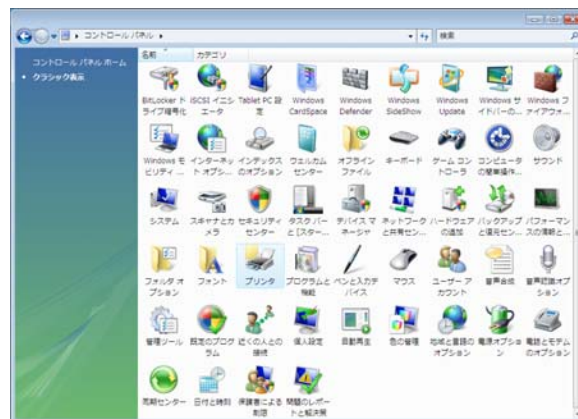
プリンタ出力用のポートを追加するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator]などの管理者権限を持ったユーザ名でWindowsにログオンします。

2 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



3 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから[クラシック表示]を選択してください。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の[表示方法]を[カテゴリ]から[大きいアイコン]か[小さいアイコン]に変更してください。

参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される[すべてのアプリ]アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて[コントロールパネル]を選択します。

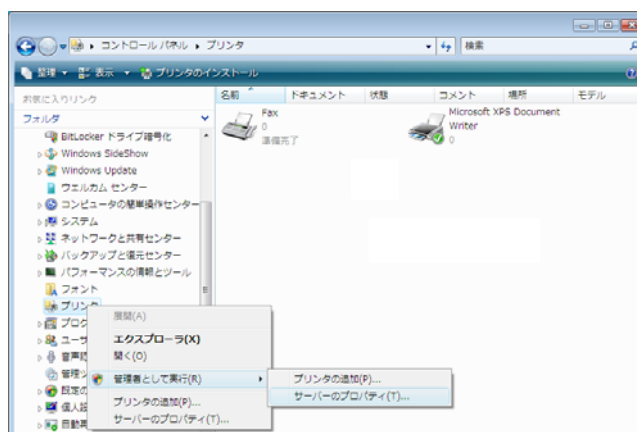
参考 Windows 8.1 の場合は、以下 (1) ~ (2) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面左下隅に表示される[↓]アイコンを選択します。
- (2) [アプリ] 画面にて[コントロールパネル]を選択します。

参考 Windows Server 2012/Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて[コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開きます。

参考 Windows 10 の場合は、画面左下隅に表示される Windows アイコンを右クリックし、[コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開きます。

4 画面左側のプリンタメニューをマウス右ボタンクリックし、[管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。

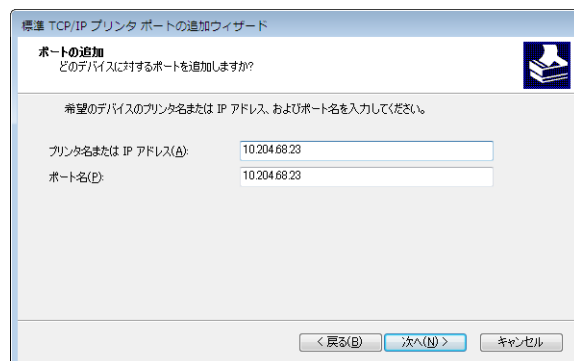


参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、Fax またはプリンタを選択し、画面上の[プリントサーバープロパティ]をクリックしてください。

- 5** [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログの[ポート] タブを選択して [ポートの追加] ボタンをクリックします。

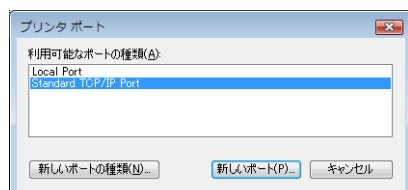


- 8** [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



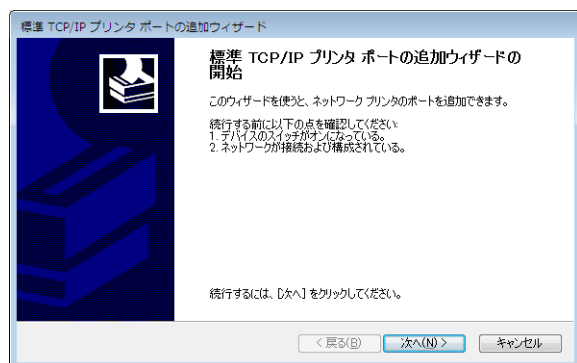
- 参考** Windows Server 2008 R2 の場合は、[ポート設定の変更] ボタンをクリックして [ポートの追加] ボタンをクリックします。

- 6** [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

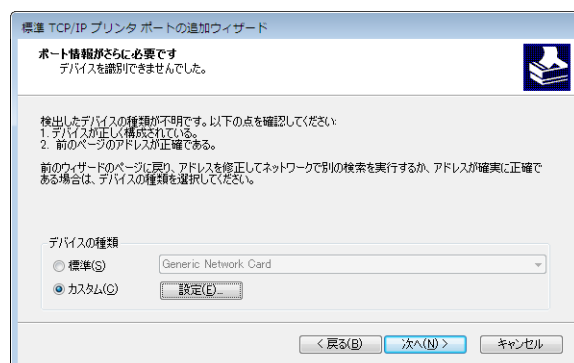


- ポイント** リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

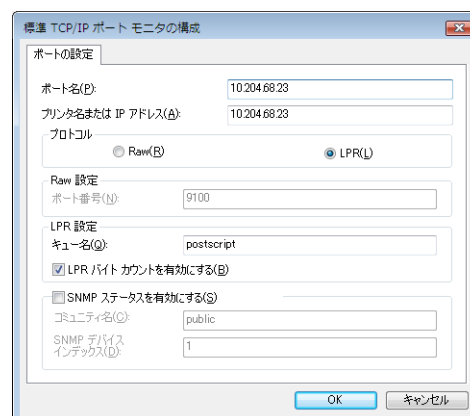
- 7** [次へ] ボタンをクリックします。



- 9** [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



- 10** [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。





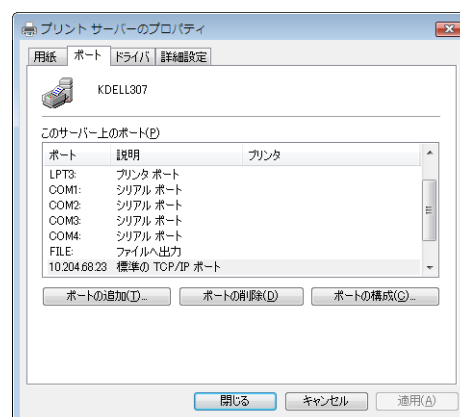
論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript”があらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、“postscript”を論理プリンタ名として使用します。“postscript”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。



「[LPR バイトカウントを有効にする]」のチェックがONのとき、印刷ジョブサイズが制限値を超えた場合、途中ページで印刷を中止し、再度先頭ページから印刷する場合があります。詳細につきましては、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

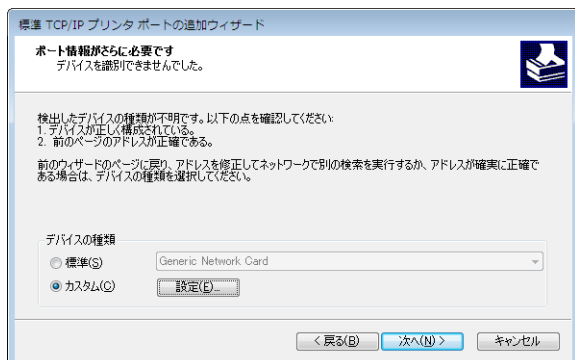
14

「[閉じる]」ボタンをクリックして「[プリントサーバーのプロパティ]」を閉じます。



11

「[次へ]」ボタンをクリックします。



12

「[完了]」ボタンをクリックします。



13

「[閉じる]」ボタンをクリックします。



2.3 Windows 添付 PostScript プリントドライバのインストール

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 添付 PostScript プリントドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリンタドライバのインストールを行ってください。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

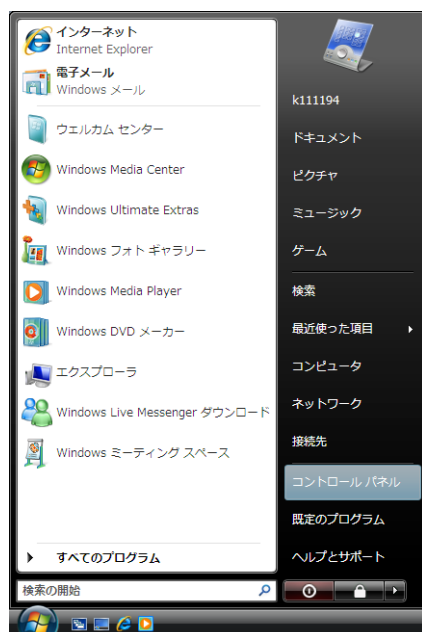
- 1** Windows を起動して「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このときプリンタ本体の電源がオンになっていることをご確認ください。

ポイント Windows には [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

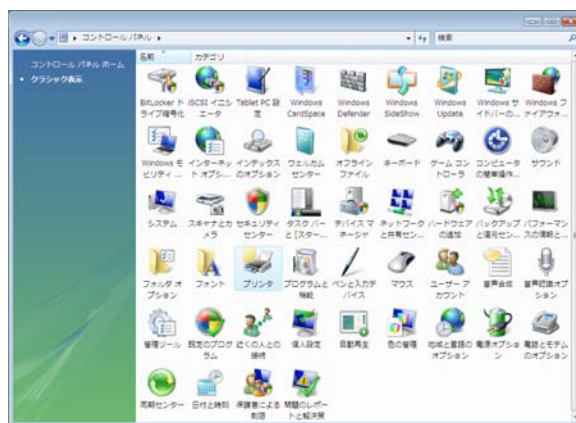
参考 Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

参考 Windows 10 の場合は、画面左下隅に表示される Windows アイコンを右クリックし、[コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 2** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 3** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

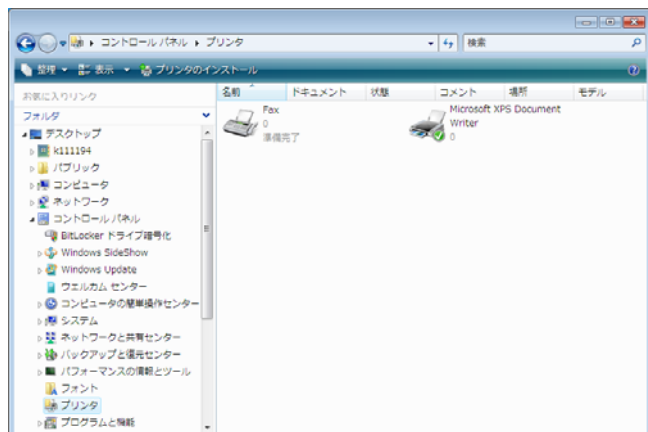
参考 Windows 8.1 の場合は、以下 (1) ~ (2) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面左下隅に表示される [↓] アイコンを選択します。
- (2) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

4 Windows Vista の場合

画面上部の「プリンタのインストール」をクリックします。

**Windows Server 2008 の場合**

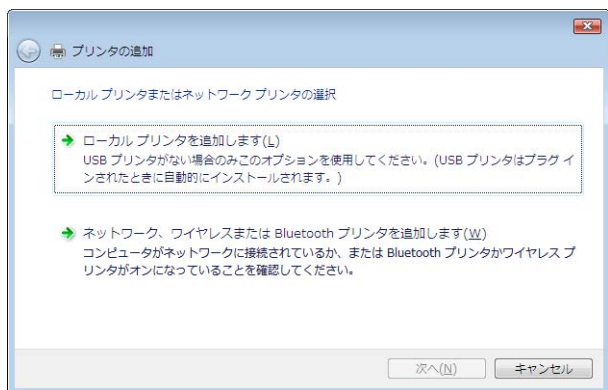
「ファイル」→「管理者として実行」→「プリンタの追加...」を選択します。

Windows 7/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合

画面上部の「プリンタの追加」を選択します。

Windows Server 2008 R2 の場合

画面上部の「プリンタの追加」をクリックし、「管理者としてローカルプリンタまたはネットワークプリンタを追加する」をクリックします。

5 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。

！ポイント プリンタをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

Windows 8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2 の場合

以下 (1) ～ (2) の手順にて実施してください。

(1) 「探しているプリンターはこの一覧にはありません」を選択します。

(2) 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択し、「次へ」をクリックします。

Windows 10 の場合

以下 (1) ～ (2) の手順にて実施してください。

(1) 「プリンターが一覧にない場合」を選択します。

(2) 「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択し、「次へ」をクリックします。



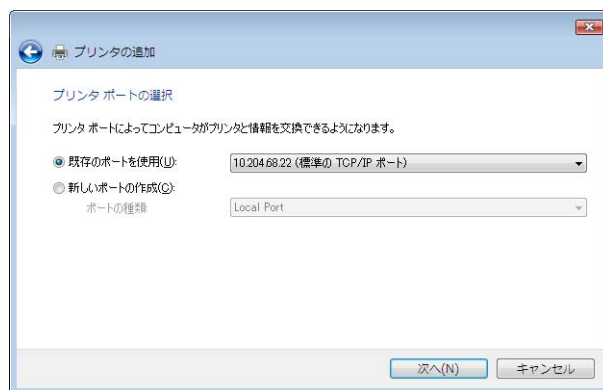
ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

Windows 8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合

「Bluetooth、ワイヤレス、またはネットワーク検出可能プリンターを追加する」を選択します。

6

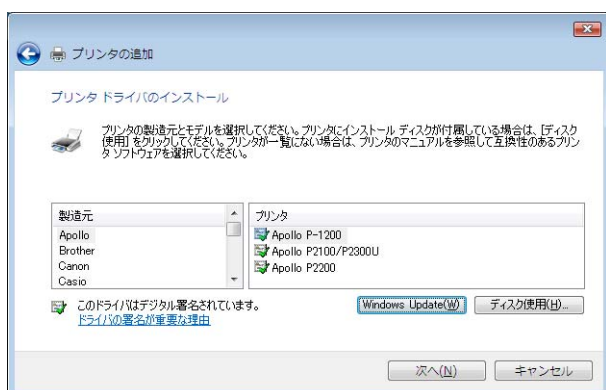
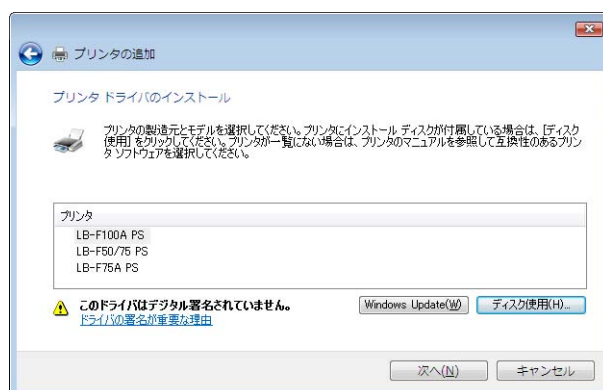
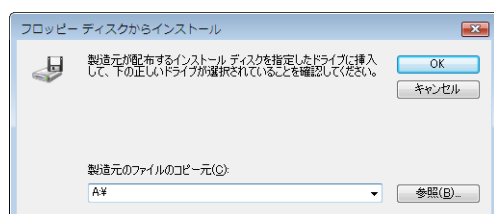
プリンタとの接続ポートを選択して「次へ」ボタンをクリックします。



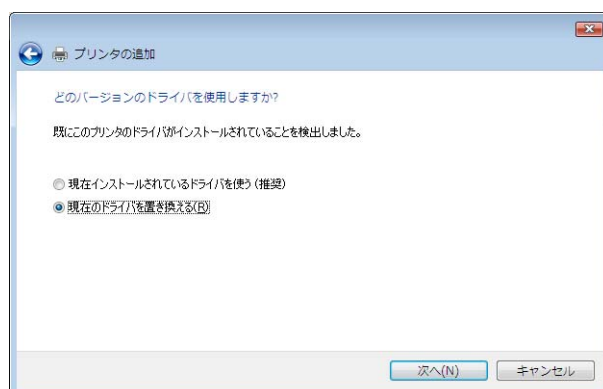
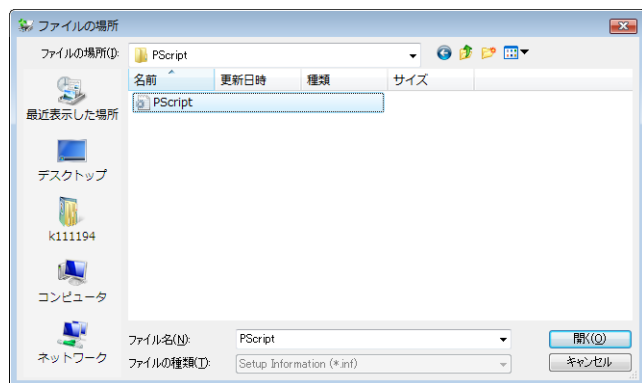
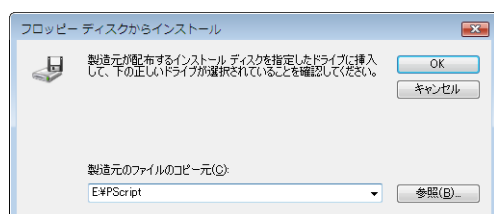
！ポイント LPR ポート (Standard TCP/IP Port) を追加する場合は「2.2 LPR ポートの追加」を参照してください。

また、「2.1 プリンタとの接続確認」や「2.6.1 LPR ポートを新規追加する場合」も合わせてご覧ください。

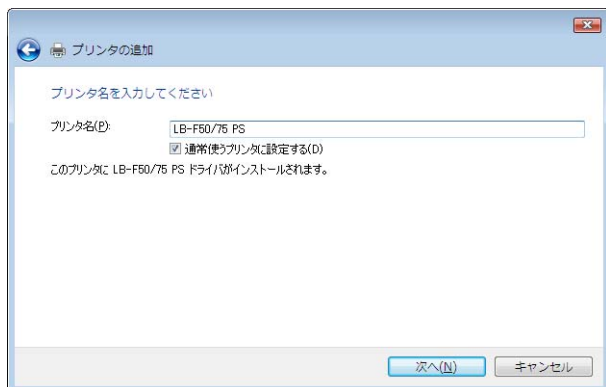
接続ポートの設定は、プリンタドライバのインストール完了後に変更することも可能です。「2.6 印刷するポートの変更」をご覧ください。

7 [ディスク使用] ボタンをクリックします。**11** プリントラモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。**8** [参照] ボタンをクリックします。

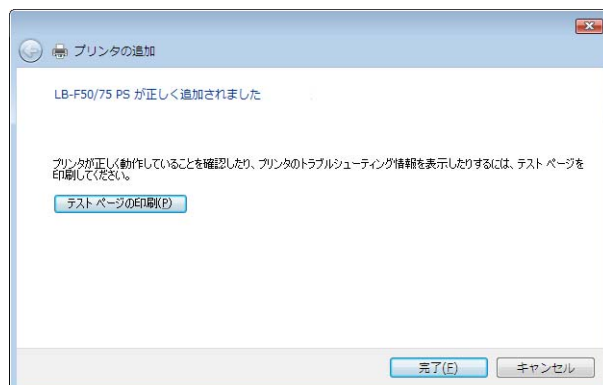
プリンタモデル
LB-F 50/75 PS
LB-F 75A PS
LB-F 100A PS

12 下図のダイアログが表示された場合は、[現在のドライバを置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。**9** CD-ROM ドライブの [PScript] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。**10** [OK] ボタンをクリックします。

- 13** [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうか選択して [次へ] ボタンをクリックします。



- 15** プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため [テストページの印刷] ボタンをクリックして [完了] ボタンをクリックします。



注意 プリンタの追加を実行する前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、プリンタドライバを通常使用するかどうかを **15** で選択します。



参考 [Windows セキュリティ] ダイアログが表示された場合、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。



14 [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

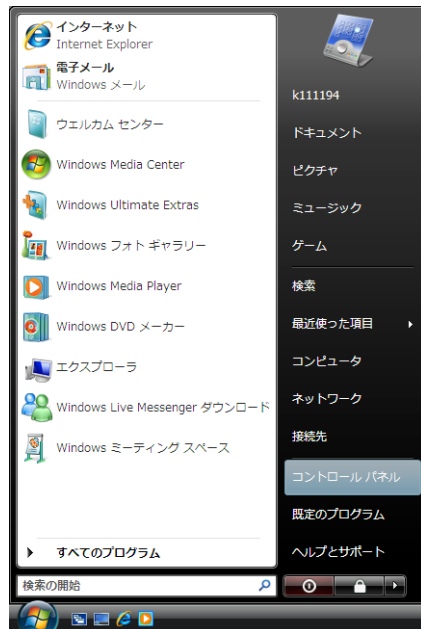


ポイント プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。

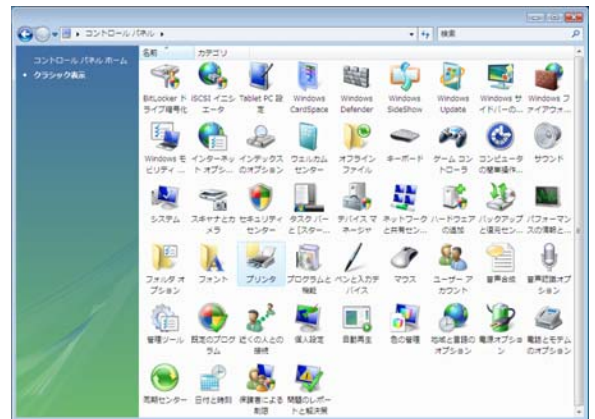
2.4 プロパティの表示

プリンタの「プロパティ」を表示するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 2** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから「クラシック表示」を選択してください。



- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される「すべてのアプリ」アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて「コントロールパネル」を選択します。

- 参考** Windows 8.1 の場合は、以下 (1) ~ (2) の手順にてコントロールパネルを開きます。

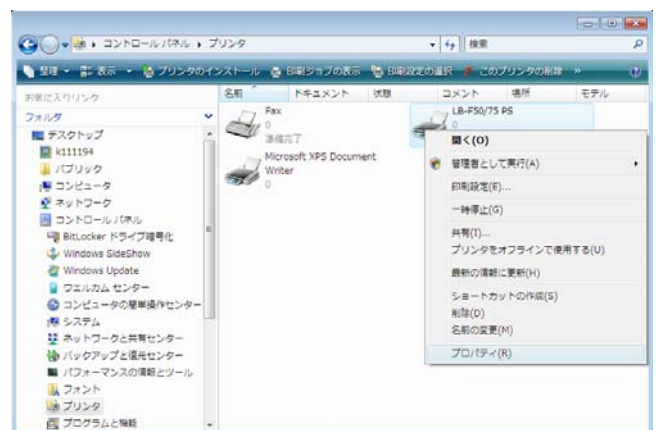
- (1) [スタート] 画面左下隅に表示される「↓」アイコンを選択します。
- (2) [アプリ] 画面にて「コントロールパネル」を選択します。

- 参考** Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[スタート] 画面にて「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 参考** Windows 10 の場合は、画面左下隅に表示される Windows アイコンを右クリックし、「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。

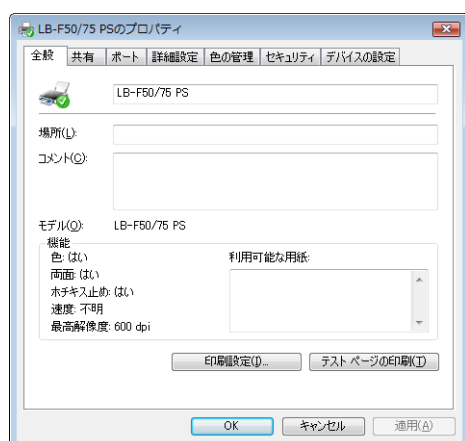
- 3** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして「プロパティ」を選択します。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、「プリンターのプロパティ」を選択します。同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。「プリンターのプロパティ」を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

4

〔全般〕や〔共有〕などのタブをクリックすると、プロパティの表示内容が切り替わります。



〔共有〕については、[「2.5 プリンタ共有」](#)を、〔ポート〕については[「2.6 印刷するポートの変更」](#)をそれぞれご覧ください。



注意

コンピュータとプリンタをパラレルインターフェースで接続する場合、ジョブを連続して送信し、OCP からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。後続のジョブがキャンセルされることを回避するためには、PostScript ジョブの末尾に [Ctrl-D] を付加するようにしてください。

2.5 プリンタ共有

ネットワーク接続された他のクライアントコンピュータから、Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 が動作しているコンピュータを経由して印刷を行うときに、プリンタの「共有」機能を使用します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

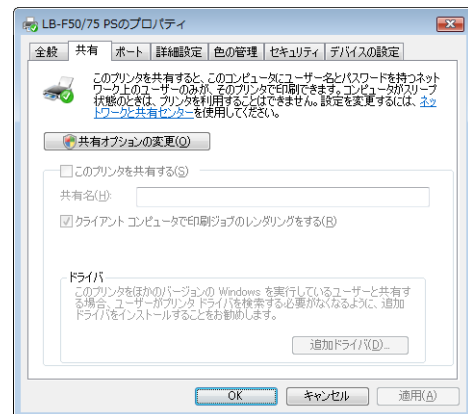
2 コントロールパネルを開き「ネットワークと共有センター」を選択します。「共有と探索」のリストから「プリンタ共有」の詳細を開いて「プリンタ共有を有効にする」を選択します。画面右下の「適用」ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。既にプリンタ共有が有効に設定されている場合は **3** に進みます。



注意 「ネットワークと共有センター」で「適用」ボタンをクリックすると、ユーザアカウントを確認するための「ユーザアカウント制御」ダイアログが表示されるときは、「続行」ボタンをクリックします。

参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、「共有の詳細設定の変更」をクリックし、「ファイルとプリンターの共有」で「ファイルとプリンターの共有を有効にする」を選択し、「変更の保存」をクリックしてください。

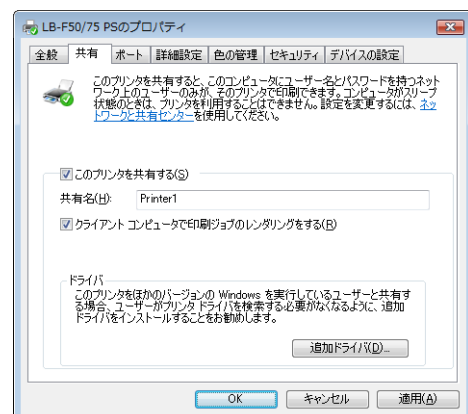
3 「2.4 プロパティの表示」の手順にしたがって、「共有」プロパティを表示し、「共有オプションの変更」ボタンをクリックします。



注意 「共有オプションの変更」ボタンをクリックすると、ユーザアカウントを確認するための「ユーザアカウント制御」が表示されるときは、「続行」ボタンをクリックします。

参考 Windows 8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、「共有」プロパティを表示した後、**4** に進みます。

4 「このプリンタを共有する」のチェックを ON にして「OK」ボタンをクリックします。「共有名」を任意の名前に変更することができます。



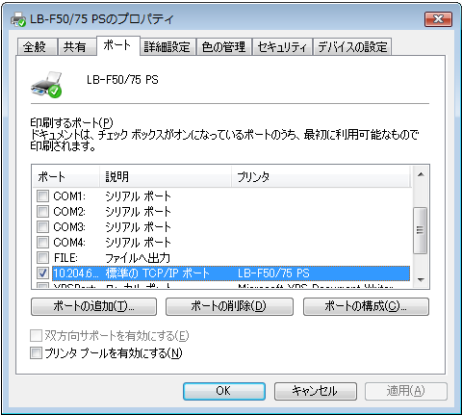
ポイント プリンタを「共有する」とネットワーク上に共有プリンタとして公開されます。Windows 上の共有プリンタは、クライアントコンピュータが送信した印刷データを受信し、さらに「ポート」プロパティで指定されたポートにこの印刷データを送信します。なお、クライアントコンピュータから Windows 上の共有プリンタを経由して印刷するには、クライアントコンピュータから共有プリンタを公開している Windows にネットワーク接続でログオンできることが前提となります。

2.6 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンタとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンタとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 「2.4 プロパティの表示」の手順にしたがって、[ポート] を表示します。



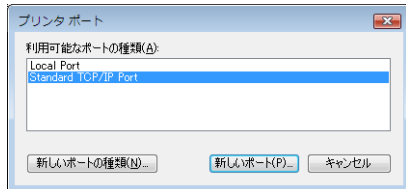
3 [印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

ポイント プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2.6.1 LPR ポートを新規追加する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

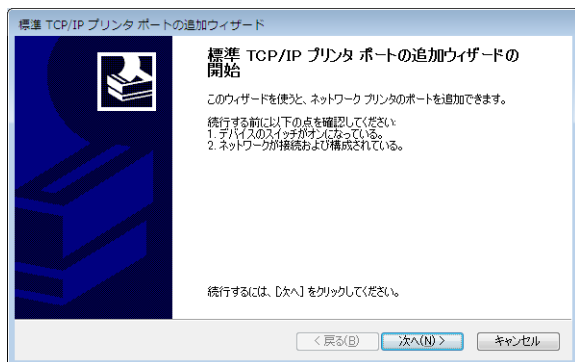


ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

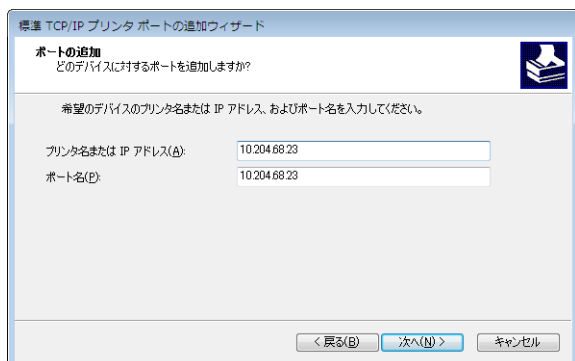


ポートの追加ができない場合、一度 [共有] プロパティで [共有オプションの変更] ボタンをクリックした後、再度 **1** から操作してください。

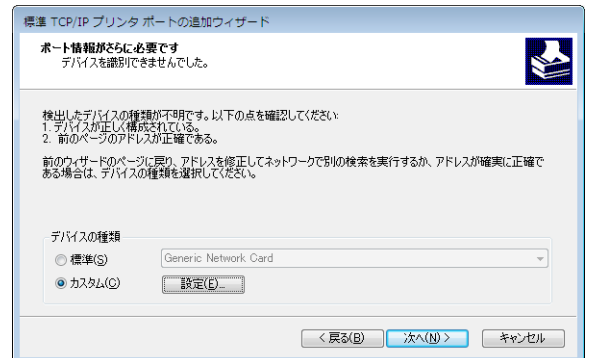
3 [次へ] ボタンをクリックします。



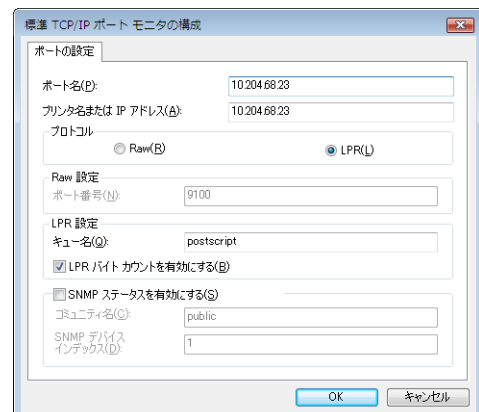
4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。

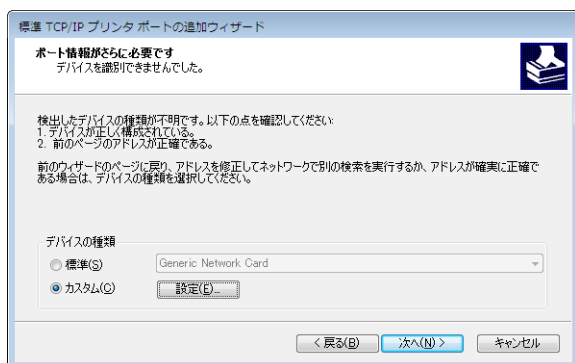


ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript” があらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、“postscript” を論理プリンタ名として使用します。“postscript” はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。



注意 [LPR バイトカウントを有効にする] のチェックが ON のとき、印刷ジョブサイズが制限値を超えた場合、途中ページで印刷を中止し、再度先頭ページから印刷する場合があります。詳細につきましては、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

7 [次へ] ボタンをクリックします。



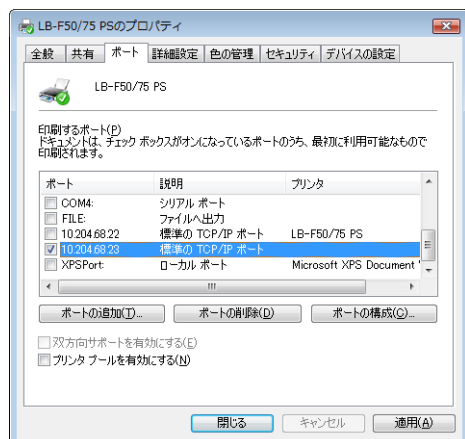
8 [完了] ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。



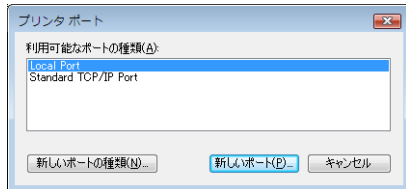
10 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



2.6.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

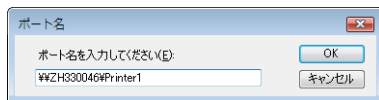
1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

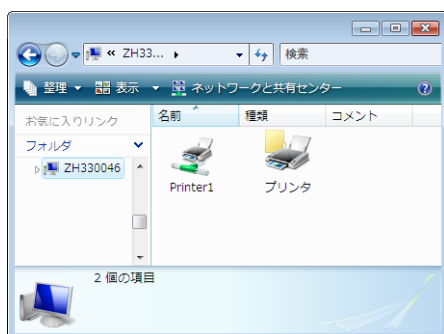


注意 ポートの追加ができない場合、一度 [共有] プロパティで [共有オプションの変更] ボタンをクリックした後、再度 **1** から操作してください。

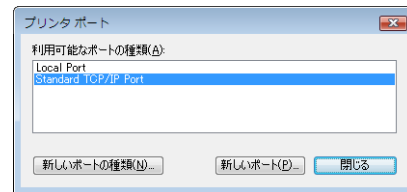
3 [ポート名] を“¥¥ サーバ名 ¥共有プリンタ名”の形式で入力し、[OK] ボタンをクリックします。図はサーバ名が ZH330046 で共有プリンタ名が Printer1 の場合の例です。



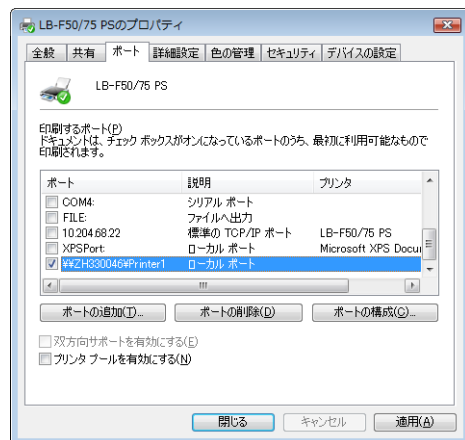
ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンタ名を確認するには、スタートメニューの [ネットワーク] を起動します。[ネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンタ名が表示されます。



4 [閉じる] ボタンをクリックします。



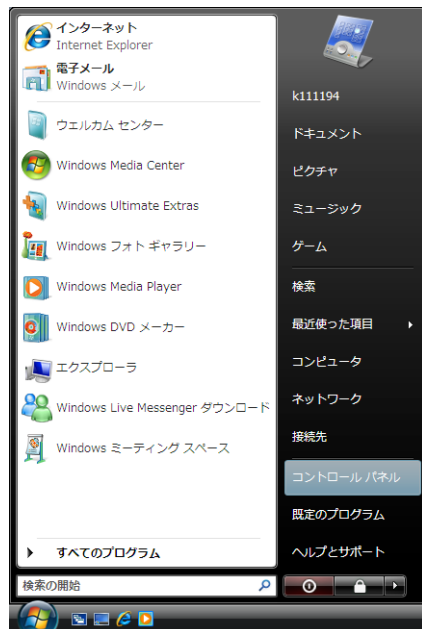
5 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



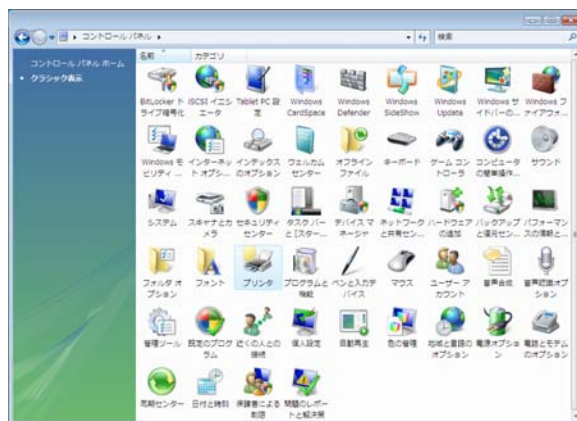
2.7 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更し、新たな初期値として保存するには、次の手順で操作を行います。アプリケーションソフトから印刷する場合、ここでのプリンタドライバの設定が初期値となります。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 2** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

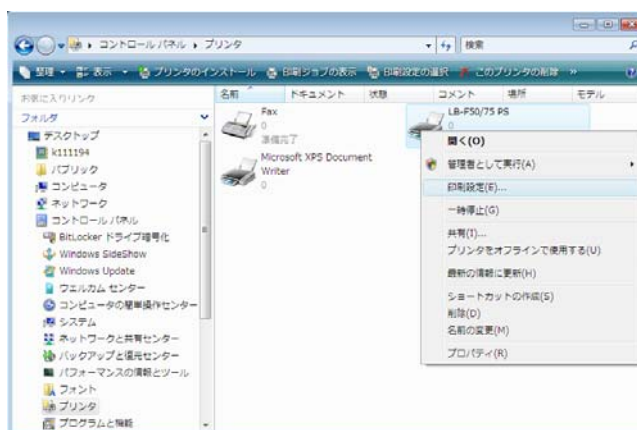
- 参考** Windows 8.1 の場合は、以下 (1) ~ (2) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面左下隅に表示される [↓] アイコンを選択します。
- (2) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

- 参考** Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

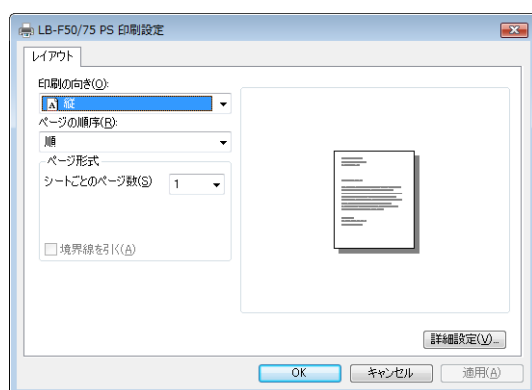
- 参考** Windows 10 の場合は、画面左下隅に表示される Windows アイコンを右クリックし、[コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 3** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。

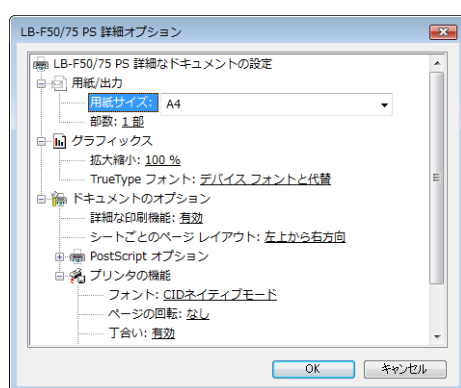


- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[印刷設定] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

- 4** さらに「詳細設定」ボタンをクリックすると「詳細オプション」が表示されます。



- 5** 設定内容を保存するには [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



！ 各項目の詳細については「[4.1 プリンタ固有機能](#)」の
ポイント 説明をご覧ください。

2.8 アプリケーションソフトからの印刷

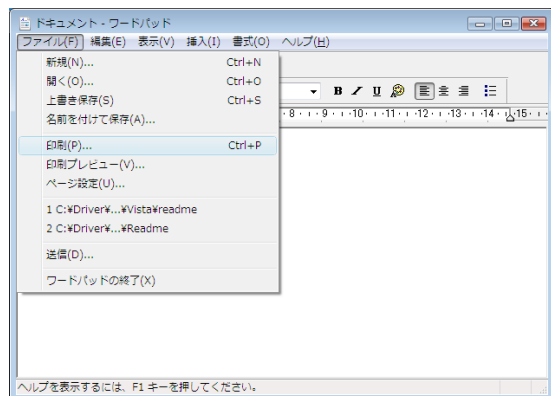
アプリケーションソフトから印刷するには、次の手順でプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。



ここでは Windows Vista 付属のワードパッドで印刷する場合の例を示します。ご使用になるアプリケーションソフトごとにメニューやダイアログの表示内容は異なります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

1

アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。

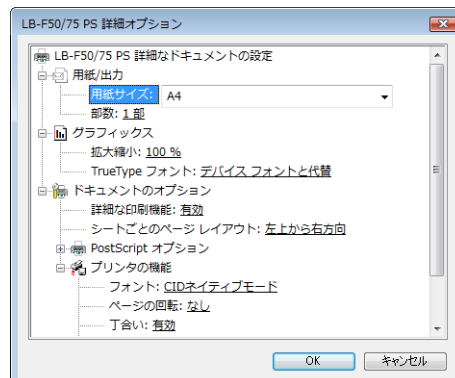


! ポイント

各項目の詳細については「4.1 プリンタ固有機能」の説明をご覧ください。

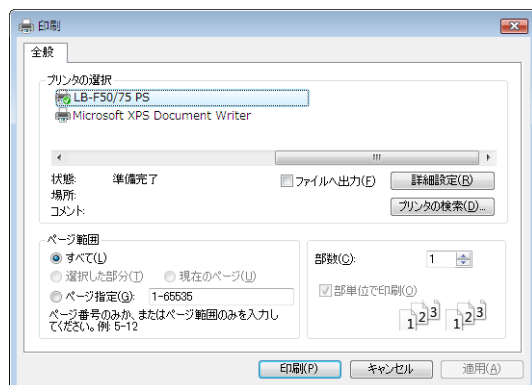
4

プリンタドライバの設定を変更し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



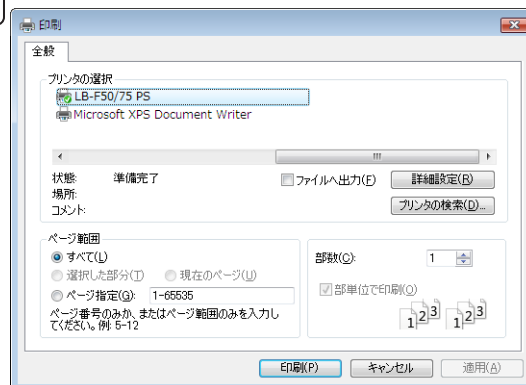
2

[プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。



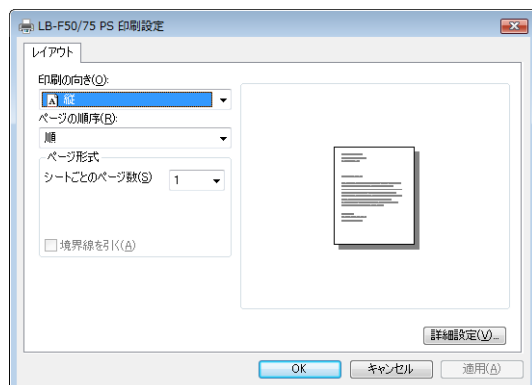
5

[印刷] ボタンをクリックします。



3

[詳細設定] ボタンをクリックすると「詳細オプション」が表示されます。



! 注意

アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い] の設定が“有効”（初期値）であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。

第 3 章

Windows XP/Server 2003 からの印刷

第3章 Windows XP/Server 2003 からの印刷

Windows XP/Server 2003 添付 PostScript プリンタドライバのインストール方法について説明します。以下の手順にしたがってプリンタとの接続確認を行い、プリンタドライバをインストールしてください。

3.1 プリンタとの接続確認

Windows からネットワーク経由でプリンタに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタドライバをインストールする前に、Windows のネットワーク設定、プリンタとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。



プリンタ本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ユーザズ ガイド」をご覧ください。また、Windows からネットワーク経由でプリンタに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に NetWare サーバ経由で印刷する方法や Windows 同士の共有プリンタ経由で印刷する方法もあります。

1

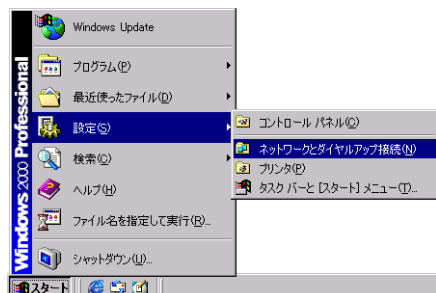
プリンタとコンピュータをネットワークに接続して、プリンタの電源を入れます。

2

Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

3

まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。
[スタート] → [設定] → [ネットワーク接続] を選択し、ネットワーク接続を開きます。



4

Windows Server 2003 の場合

[ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。



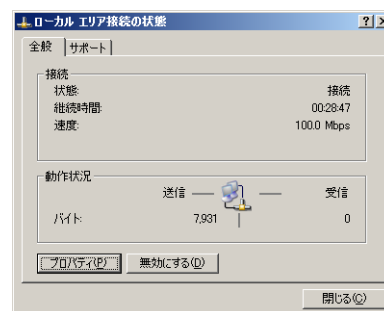
Windows XP の場合

[ネットワーク接続] をクリックします。
次に [ローカルエリア接続] アイコンを選択し、[ネットワークタスク] → [この接続の設定を変更する] をクリックします。

5

Windows Server 2003 の場合

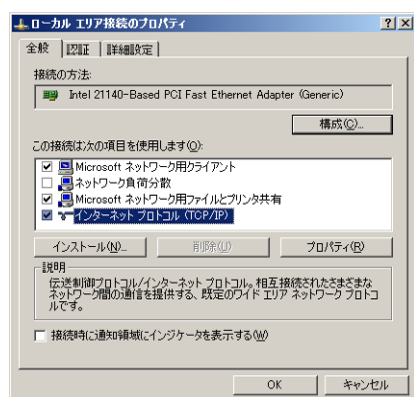
[プロパティ] ボタンをクリックします。



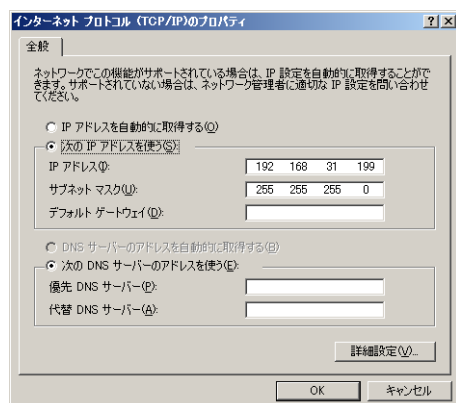
Windows XP の場合

6 に進みます。

- 6** リストから [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。

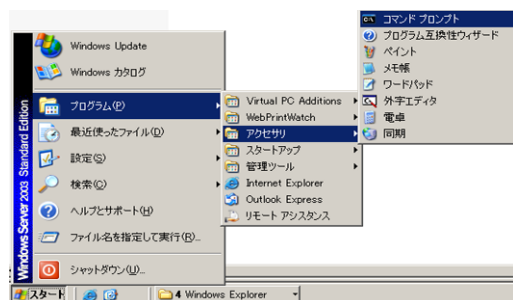


- 7** [IP アドレス] などの設定が正しく行われていることをご確認ください。



IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

- 8** 次に、プリンタと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。
[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。

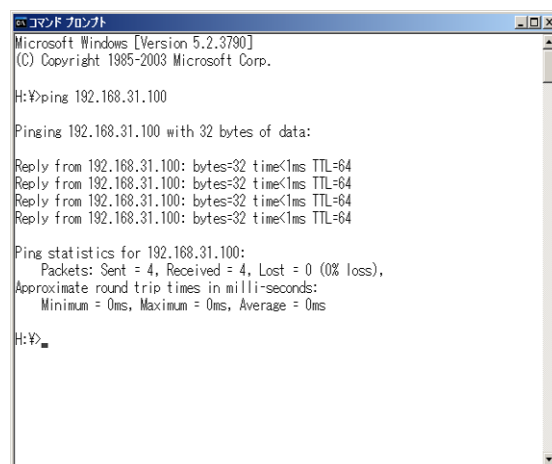


- 9** 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンタの IP アドレスを入力します。



プリンタの IP アドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

- 10** 図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタドライバのインストールに進みます。
「Request timed out.」が表示された場合は、プリンタの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンタまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。



LPR ポートの設定はプリンタドライバのインストール時に行います。

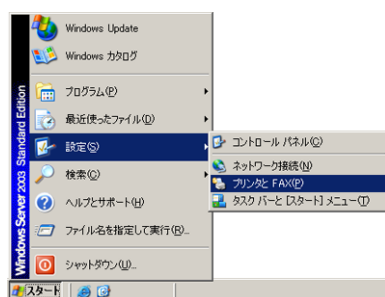
3.2 Windows XP/Server 2003 添付 PostScript プリントドライバのインストール

Windows XP/Server 2003 添付 PostScript プリントドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリントドライバのインストールを行ってください。

- 1 Windows を起動して「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このときプリンタ本体の電源がオンになっていることをご確認ください。

ポイント Windows には [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログインします。また、動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。

- 2 [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



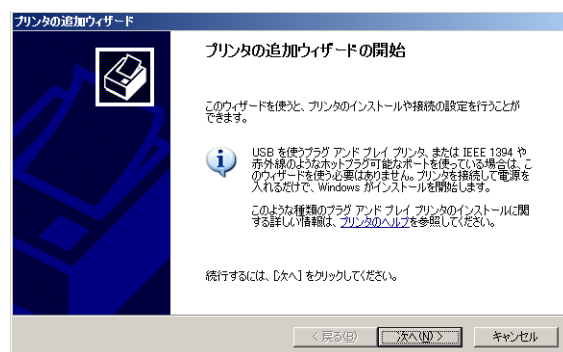
- 3 Windows Server 2003 の場合
[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。



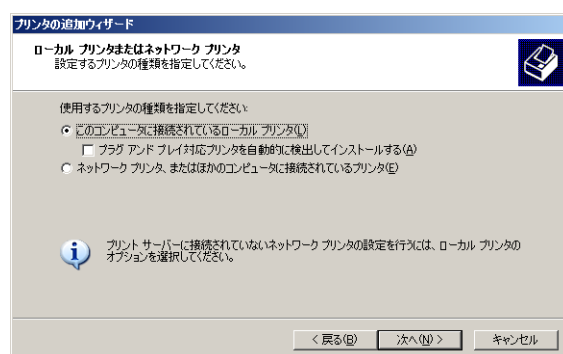
Windows XP の場合

[プリンタのタスク] → [プリンタのインストール] をクリックします。

- 4 [次へ] ボタンをクリックします。



- 5 [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して [次へ] ボタンをクリックします。

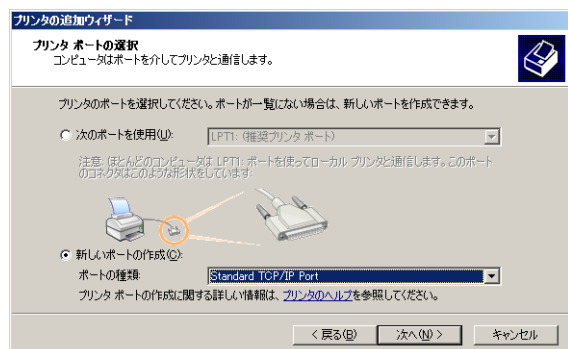


ポイント [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択することもできますが、ここではプリンタをネットワーク接続でご使用になる場合でも通常は [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択してください。

参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

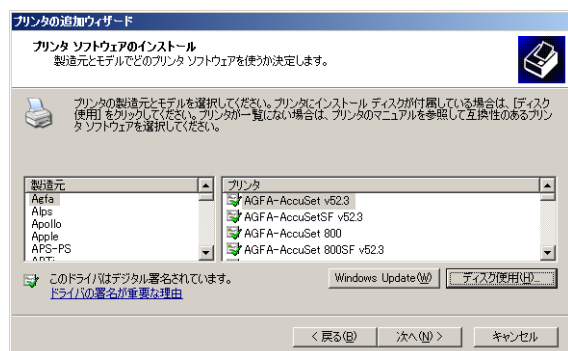
6 プリンタとの接続ポートを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

新たに接続ポートを追加する場合は、[新しいポートの作成] とポートの [種類] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

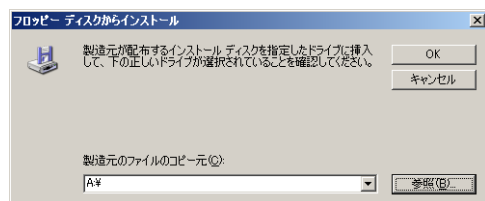


ポイント LPR ポート (Standard TCP/IP Port) を追加する場合は「[3.1 プリンタとの接続確認](#)」や「[3.5.1 LPR ポートを新規追加する場合](#)」をご覧ください。また、接続ポートの設定は、プリンタドライバのインストール完了後に変更することも可能です。「[3.5 印刷するポートの変更](#)」をご覧ください。

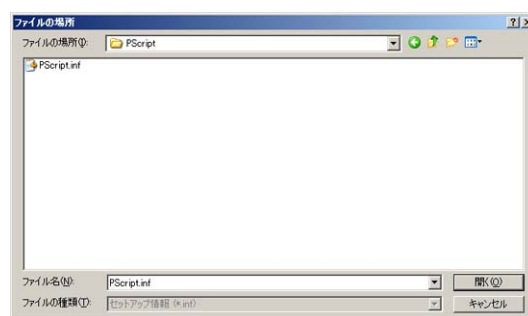
7 [ディスク使用] ボタンをクリックします。



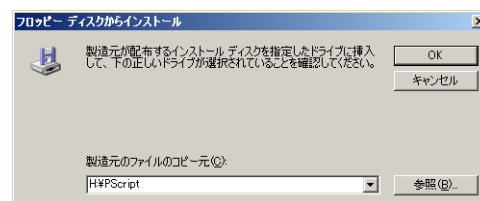
8 [参照] ボタンをクリックします。



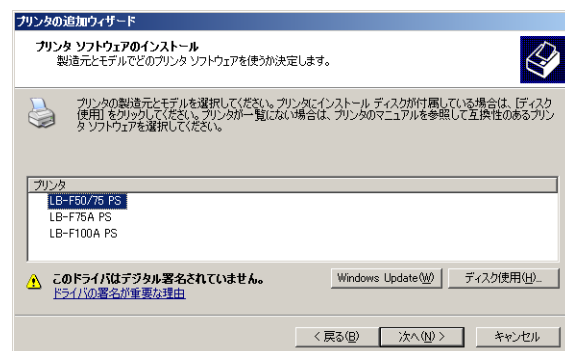
9 CD-ROM ドライブの [PScript] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



10 [OK] ボタンをクリックします。

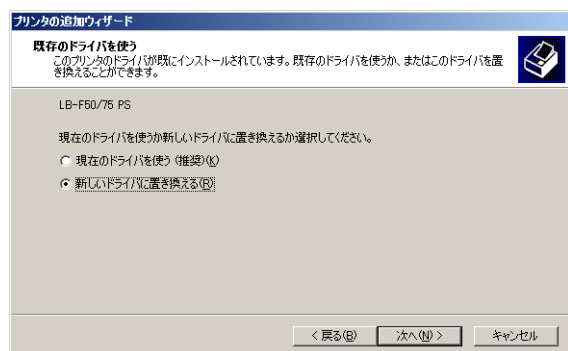


11 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

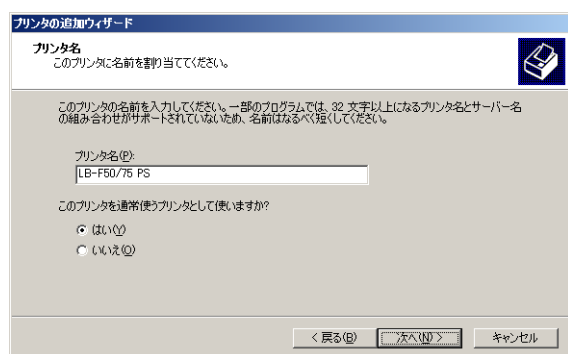


プリンタモデル
LB-F 50/75 PS
LB-F 75A PS
LB-F 100A PS

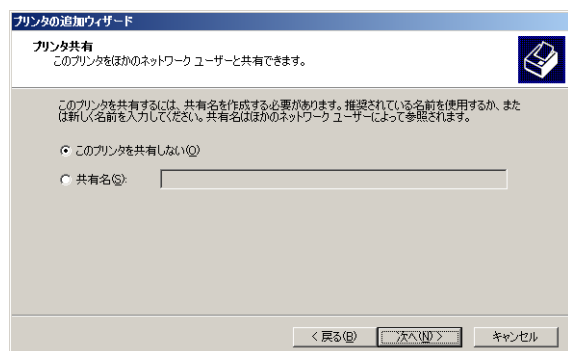
- 12** 下図のダイアログが表示された場合は、[新しいドライバに置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



- 13** [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうか選択して [次へ] ボタンをクリックします。

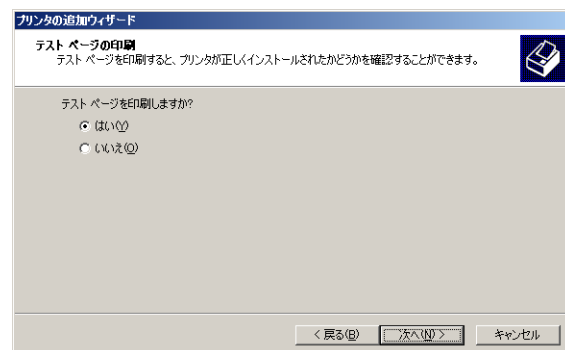


- 14** [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



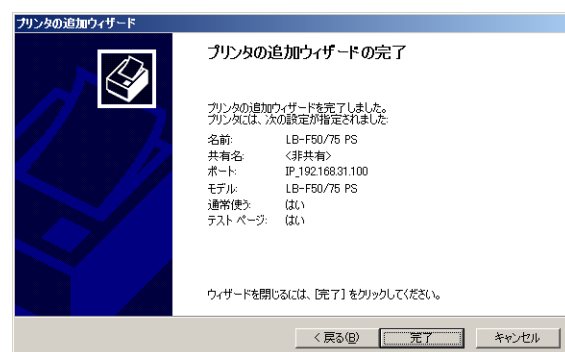
! プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。

- 15** プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するには [はい] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



! 「テストページの印刷」をする場合は、プリンタ操作パネルで [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を [ユウコウ] にしてください。プリンタの操作パネルの操作方法については製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

- 16** [完了] ボタンをクリックします。

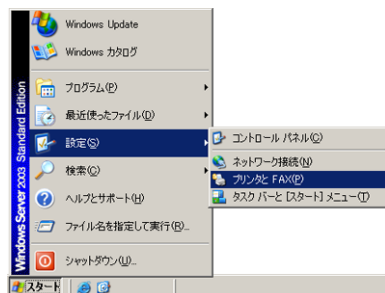


- 17** [ハードウェアのインストール] ダイアログが表示されますので、[続行] ボタンをクリックします。ここでファイルのコピーが行われ、[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが追加されます。

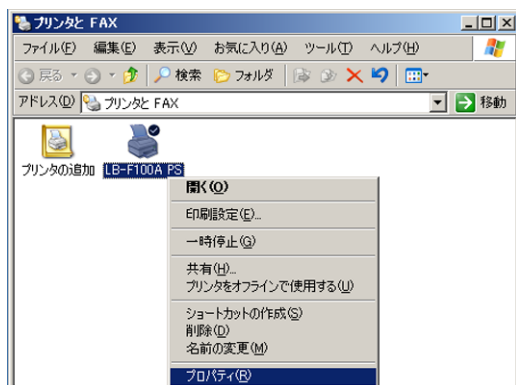
3.3 プロパティの表示

プリンタの「プロパティ」を表示するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

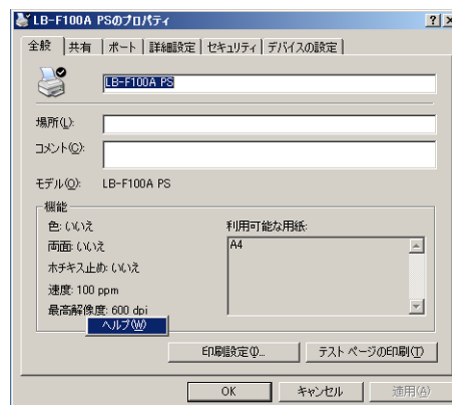
- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



- 2** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして「プロパティ」を選択します。



- 3** [全般] や [共有] などのタブをクリックすると、プロパティの表示内容が切り替わります。各項目の説明については、オンラインヘルプをご覧ください。



ポイント オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示したい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして「ヘルプ」を選択します。

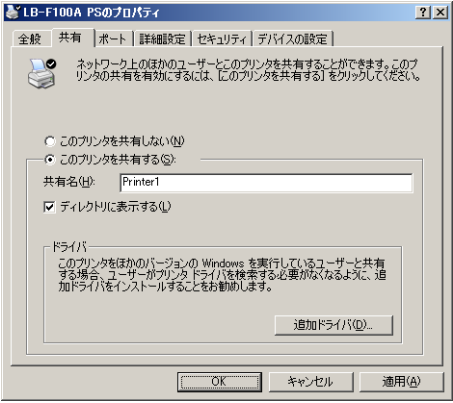
参考 [共有] については、「[3.4 プリンタ共有](#)」を、[ポート] については「[3.5 印刷するポートの変更](#)」をそれぞれご覧ください。

注意 コンピュータとプリンタをパラレルインターフェースで接続する場合、ジョブを連続して送信し、OCP からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。後続のジョブがキャンセルされることを回避するためには、PostScript ジョブの末尾に [Ctrl-D] を付加するようにしてください。

3.4 プリンタ共有

ネットワーク接続された他のクライアントコンピュータから、Windows XP/Server 2003 が動作しているコンピュータを経由して印刷するとき、プリンタの「共有」機能を使用します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 「3.3 プロパティの表示」の手順にしたがって、「共有」プロパティを表示します。



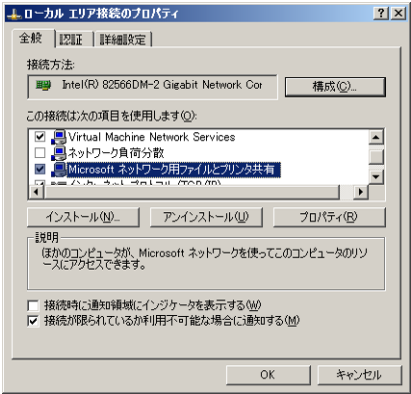
2 「共有する」を選択して、共有プリンタの名前を入力します。クライアントコンピュータでは、通常ここで入力した名前が「共有プリンタ名」として認識されます。

ポイント プリンタを「共有する」とネットワーク上に共有プリンタとして公開されます。Windows 上の共有プリンタは、クライアントコンピュータが送信した印刷データを受信し、さらに「ポート」プロパティで指定されたポートにこの印刷データを送信します。なお、クライアントコンピュータからWindows上の共有プリンタを経由して印刷するには、クライアントコンピュータから共有プリンタを公開しているWindowsにネットワーク接続でログオンできることが前提となります。

3 [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

参考 「共有」プロパティの「追加ドライバ」ボタンをクリックすると、クライアントコンピュータから要求があった時にプリンタドライバを自動的にダウンロードするように、あらかじめプリンタドライバをWindows上に格納しておくことができます。

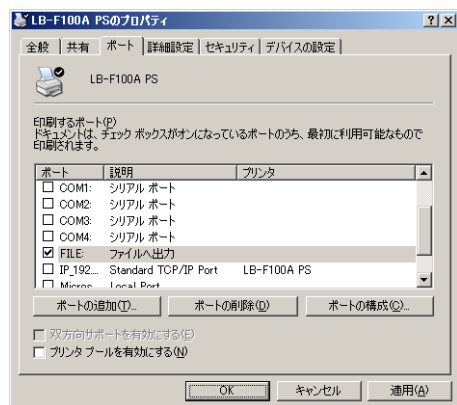
参考 「共有」設定ができない場合は、「Administrator」などの管理者権限を持ったユーザ名でWindowsにログオンします。「スタート」→「設定」→「ネットワーク接続」を選択し、「ローカルエリア接続」の「プロパティ」を表示します。「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が組み込まれていて、チェックボックスがONになっていることをご確認ください。



3.5 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンタとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンタとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1 「3.3 プロパティの表示」の手順にしたがって、[ポート] を表示します。



- 2 [印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



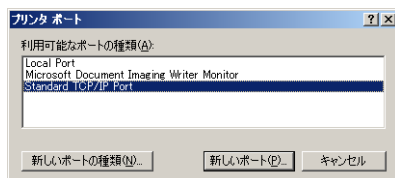
ポイント

プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

3.5.1 LPR ポートを新規追加する場合

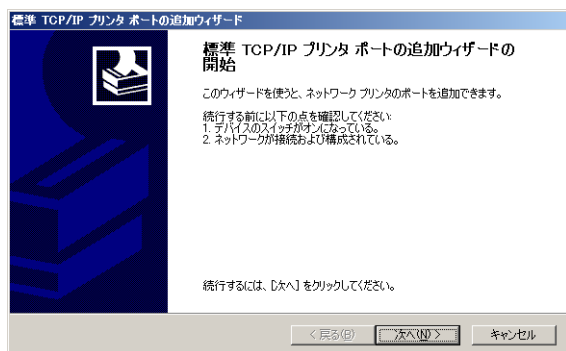
1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

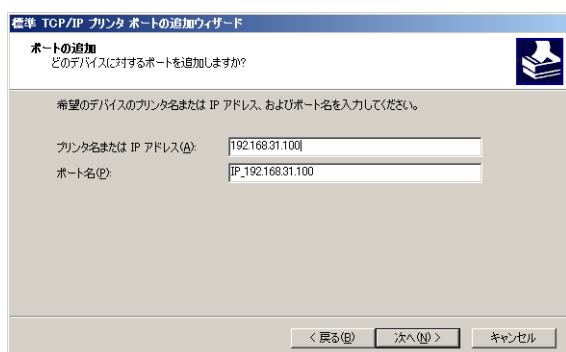


ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

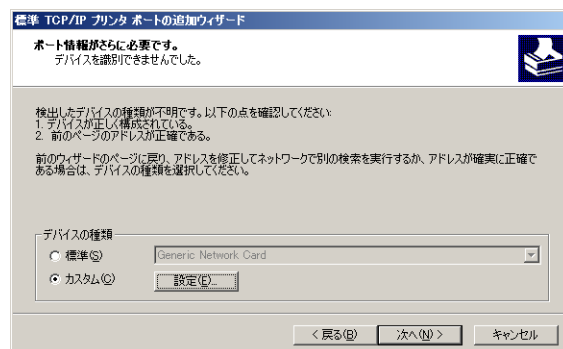
3 [次へ] ボタンをクリックします。



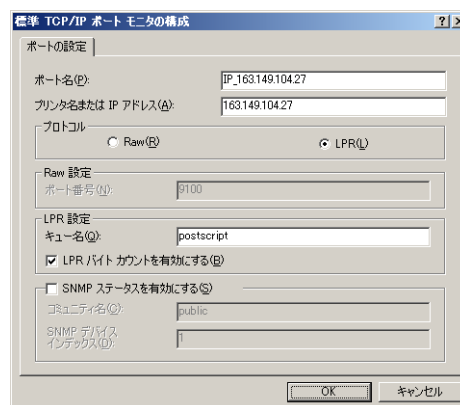
4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。



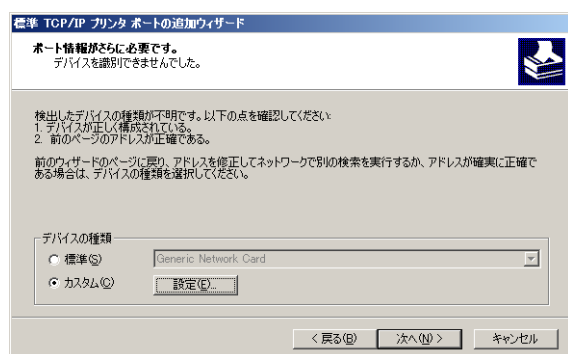
ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“postscript”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、“postscript”を論理プリンタ名として使用します。“postscript”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。



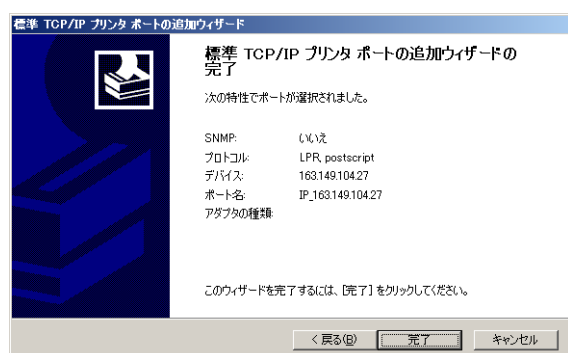
注意

[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックが ON のとき、印刷ジョブサイズが制限値を超えた場合、途中ページで印刷を中止し、再度先頭ページから印刷する場合があります。詳細につきましては、製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

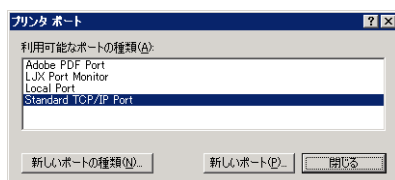
7 [次へ] ボタンをクリックします。



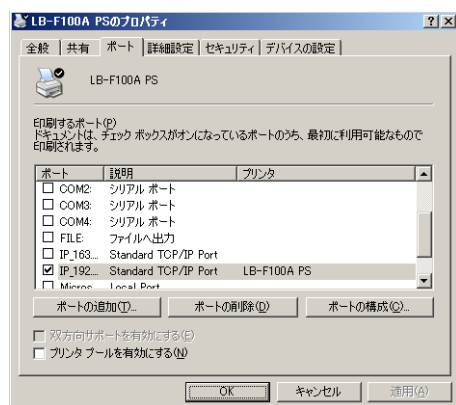
8 [完了] ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。



10 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



3.5.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

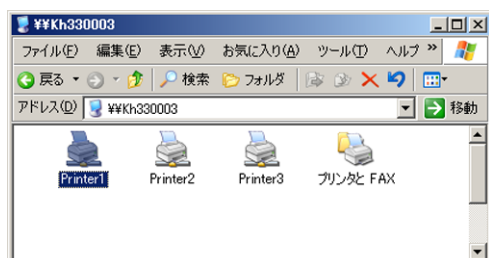
2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



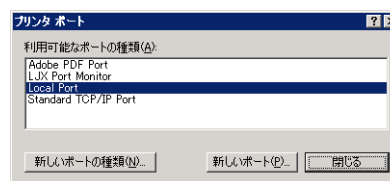
3 [ポート名] を“¥¥サーバ名¥共有プリンタ名”の書式で入力し、[OK] ボタンをクリックします。図はサーバ名がkh330003で共有プリンタ名がPrinter1の場合の例です。



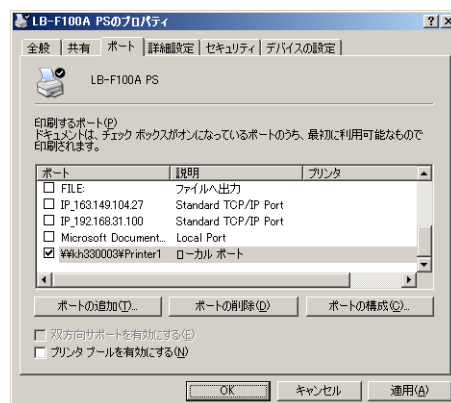
ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンタ名を確認するには、デスクトップ上の [マイネットワーク] を使用します。[マイネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンタ名が表示されます。



4 [閉じる] ボタンをクリックします。



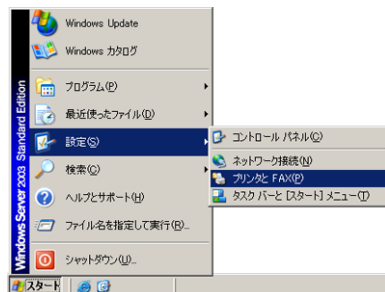
5 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



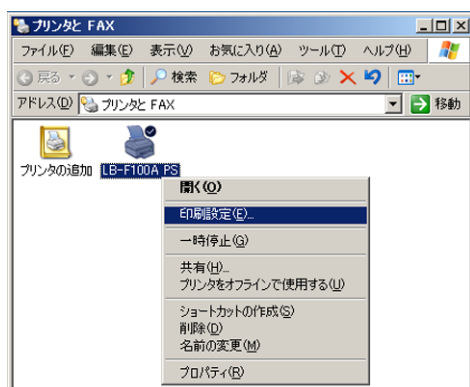
3.6 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更するには、次の手順で「印刷設定」を表示します。

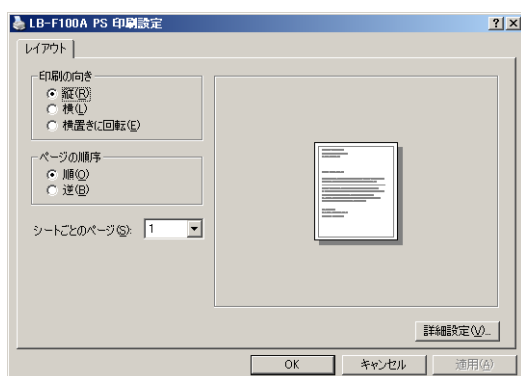
- 1** 「[スタート] → [設定] → [プリンタと FAX]」を選択し、プリンタと FAX を開きます。



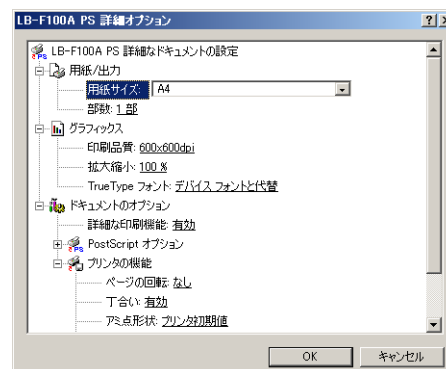
- 2** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして「印刷設定」を選択します。



- 3** 「[詳細設定]」ボタンをクリックすると「詳細オプション」が表示されます。



- 4** 設定内容を保存するには [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



！ポイント 各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして「ヘルプ」を選択します。また、「[4.1 プリンタ固有機能](#)」の説明もご覧ください。

3.7 アプリケーションソフトからの印刷

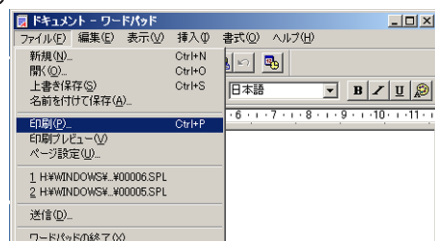
アプリケーションソフトから印刷するときにプリンタドライバの設定を変更するには、次の手順で操作を行います。



アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定などについては、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。以下の手順は Windows Server 2003 付属のワードパッドの例です。

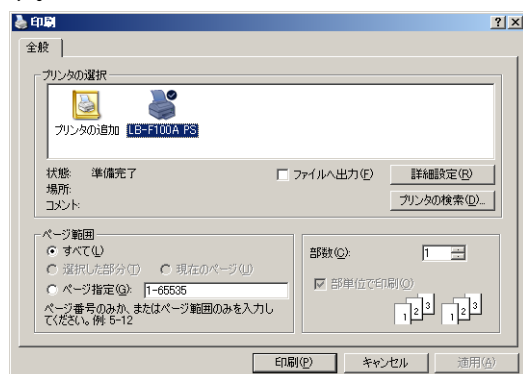
1

アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。



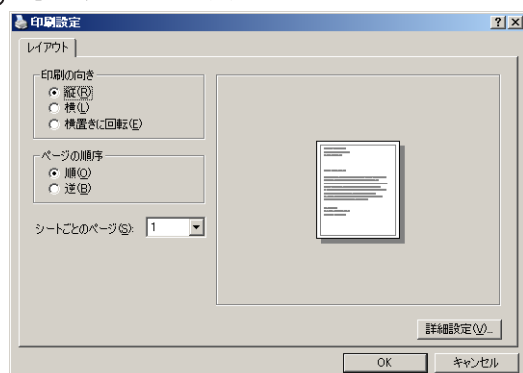
2

[プリンタの選択] リストから PostScript プリンタドライバを選択して [レイアウト] タブをクリックします。



3

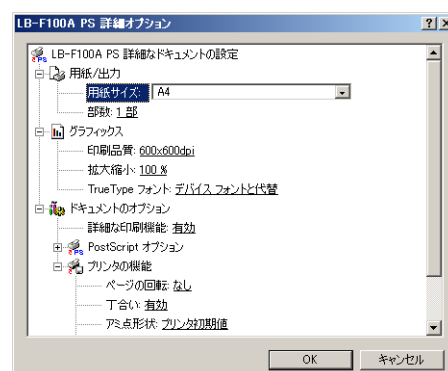
[詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。また、[4.1 プリンタ固有機能](#)の説明もご覧ください。

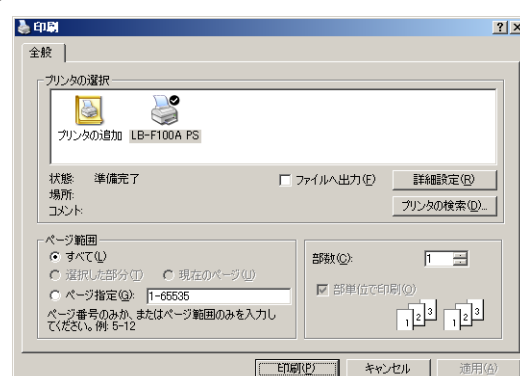
4

プリンタドライバの設定を変更したら [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



5

[印刷] ボタンをクリックすると印刷処理が開始されます。



アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が增大して印刷スピードが低下する原因となります。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い] の設定が “有効” (初期値) であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。

第 4 章

プリンタドライバの設定

OG	A	01	
----	---	----	--

第 4 章 プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定をすると、いろいろな機能を使って印刷することができます。本章では、プリンタドライバの設定方法について説明します

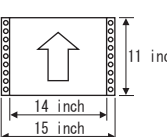
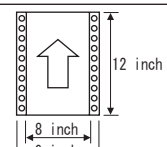
4.1 プリンタ固有機能

プリンタ固有機能の設定項目について説明します。

 プリンタドライバで「プリンタの機能」を表示するには、2 章～3 章の「プリンタドライバの初期値変更」「アプリケーションソフトからの印刷」をご覧ください。

- ◇ 用紙サイズ（初期値：A4）
印刷する用紙サイズを選択します。

 **ポイント** 「用紙サイズ」とプリンタ操作パネルの用紙設定をあわせませす。このとき「用紙サイズ」には用紙両端の送り穴の部分の長さ（1 inch = 25.4 mm）は含まれないようにします。以下に設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	プリンタ操作パネル	プリンタドライバ
	用紙設定	用紙サイズ
15 x 11 (長辺給紙)		15x11 (14x11) inch ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅14 inch 高さ11 inch
9 x 12 (短辺給紙)		9x12 (8x12) inch ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅8 inch 高さ12 inch

 **参考** カスタムサイズの設定については、「4.2 カスタムサイズ用紙に印刷するには」をご覧ください。

- ◇ 印刷品質（初期値：600dpi）
プリンタの解像度を指定します。



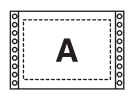
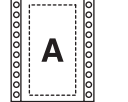
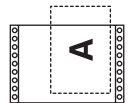
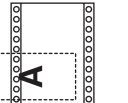
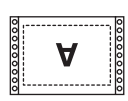
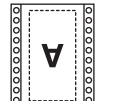
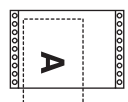
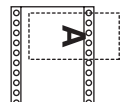
以下のプリンタモデルでのみ設定できます。
・LB-F 75A PS
・LB-F 100A PS

- ◇ フォント（初期値：CID ネイティブモード）
通常は「CID ネイティブモード」を選択します。OCF フォントを使用する場合や文字の印刷に関して問題が発生した場合には「OCF コンパチブルモード」へ切り替えてください。

- ◇ ページの回転（初期値：なし）
通常は「なし」を選択します。ページを回転して印刷する場合は、回転角度を指定します。



参考 回転角度を指定すると、「なし」の印刷結果を基準として以下ようになります。

ページの回転	印刷結果	
	 長辺給紙	 短辺給紙
なし		
90度		
180度		
270度		

- ◇ 丁合い（初期値：有効）
「有効」を選択すると、文書を複数部数印刷するときに、各部ごとにページ順で印刷を行います。「無効」を選択すると、各ページごとに指定部数分の印刷を行います。



注意 アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログに「部単位で印刷」または「丁合い」のチェックボックスが現われるものがあります。複数部数印刷する場合は、印刷ダイアログの「部単位で印刷」または「丁合い」のチェックは必ず外してください。このチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへのデータ転送量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。

◇ アミ点形状、スクリーン線数、スクリーン角度
(初期値：プリンタ初期値)
ハーフトーン処理を行うときのアミ点形状、線数、角度を指定します。[スクリーン線数][スクリーン角度]で[プリンタ初期値]以外の値を指定するには、まず[アミ点形状]で[プリンタ初期値]以外の形状を選択してください。

！
ポイント スクリーン線数とスクリーン角度は、それぞれの値とプリンタ解像度との相互関係により変化します。このため、[スクリーン線数][スクリーン角度]の指定値と、実際の印刷結果が異なる場合があります。また、アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバでの[アミ点形状][スクリーン線数][スクリーン角度]の指定を無効にするものがあります。

◇ 用紙不一致時の動作（初期値：プリンタのベストフィット設定に従う）
アプリケーションソフト上の用紙サイズとプリンタにセットされている用紙サイズが異なる時の動作を指定します。
通常は[プリンタのベストフィット設定に従う]を選択し、プリンタのベストフィット設定により印刷させます。[プリンタにセットされている用紙で印刷]を選択した場合は、プリンタのベストフィット設定に関わらず常に現在プリンタにセットされている用紙で印刷されます。



注意

以下のプリンタモデルでのみ設定できます。
・LB-F 75A PS
・LB-F 100A PS

4.2 カスタムサイズ用紙に印刷するには

ポイント プリンタ操作パネルの「プリンタ設定」→「用紙設定」→「用紙サイズ」で、カスタム用紙のサイズを設定します。プリンタの操作パネルの操作方法については製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

参考 プリンタ操作パネルの「プリンタ設定」→「ポストスクリプト」→「ベストフィット」の設定を印刷条件に応じて変更します。ベストフィット機能は、アプリケーションソフト上の用紙サイズと異なる用紙に印刷する場合に有効です。詳しくは製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 Windows XP/Server 2003 の場合

「スタート」→「設定」→「プリンタと FAX」を選択します。

Windows Vista/Server 2008 の場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」から「プリンタ」をダブルクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合

「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。

Windows 8 の場合

「スタート」画面にて背景を右クリックし、画面右下隅に表示される「すべてのアプリ」アイコンを選択すると、「アプリ」画面が表示されます。「アプリ」画面にて「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。

Windows 8.1 の場合

「スタート」画面にて画面左下隅に表示される「↓」アイコンを選択すると、「アプリ」画面が表示されます。「アプリ」画面にて「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。

Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合

「スタート」画面にて「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。

Windows 10 の場合

画面左下隅に表示されるWindowsアイコンを右クリックし、「コントロールパネル」を選択し、「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。

2 Windows XP/Server2003 の場合

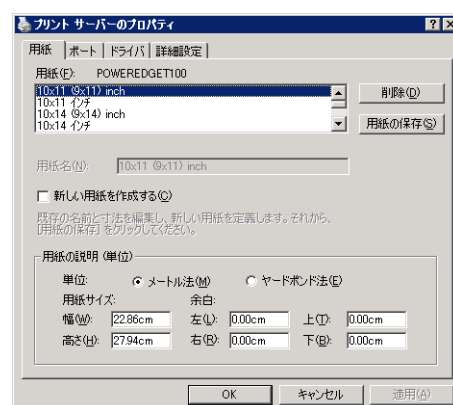
「ファイル」→「サーバーのプロパティ」を選択します。

Windows Vista/Server 2008 の場合

プリンタリスト上で右ボタンをクリックして「管理者として実行」→「サーバーのプロパティ」を選択します。

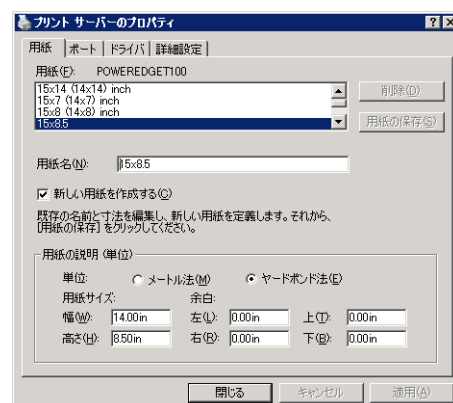
Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合

Fax またはプリンタを選択し、画面上の「プリントサーバープロパティ」をクリックします。



3 「用紙」タブ上で、「新しい用紙を作成する」をチェックし、幅と高さを設定して「用紙の保存」ボタンをクリックします。

参考 たとえば、15x8.5 インチの用紙サイズをすべて余白無しで作成した場合は下記ようになります。





Windows Server 2008 R2 の場合は、[用紙設定の変更] ボタンをクリックして [新しい用紙を作成する] をチェックし、幅と高さを設定して [用紙の保存] ボタンをクリックします。



プリンタの操作パネルで設定した用紙サイズにあわせて、このとき、用紙両端の送り穴の部分の長さ (1 inch = 25.4mm) は引き算します。以下に設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	給紙のイメージ	入力値	
		幅	高さ
14 x 11 長辺から出力		13 inch	11 inch
11 x 14 短辺から出力		10 inch	14 inch



アプリケーションソフト上では新しく追加した用紙サイズ名を直接指定します。新しく追加した用紙サイズは、アプリケーションソフトとプリンタドライバとの組み合わせにより正しく動作しない場合があります。あらかじめ試し印刷を行い、正しく印刷できることを確認してからご使用ください。

4.3 プリンタドライバのバージョンを確認するには

プリンタドライバのバージョン情報は次の画面でご確認ください。

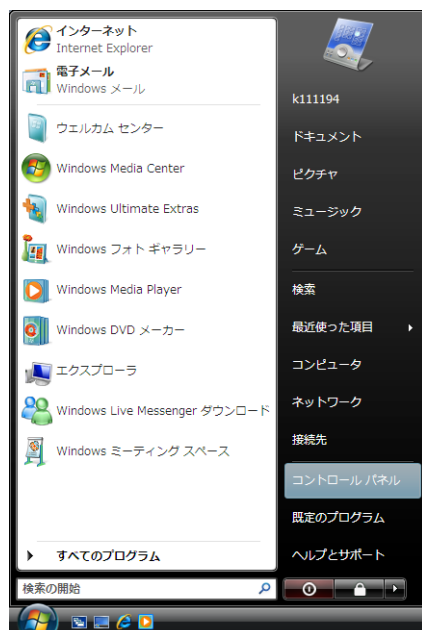
4.3.1 Windows 添付 PostScript プリンタドライバ

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 添付 PostScript プリンタドライバは以下の手順で確認してください。(Windows XP/Server 2003の場合は「4.3.2 Windows XP/Server 2003 添付 PostScript プリンタドライバ」を参照してください。)

説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1

「[スタート] → [コントロールパネル]」を選択し、コントロールパネルを開きます。

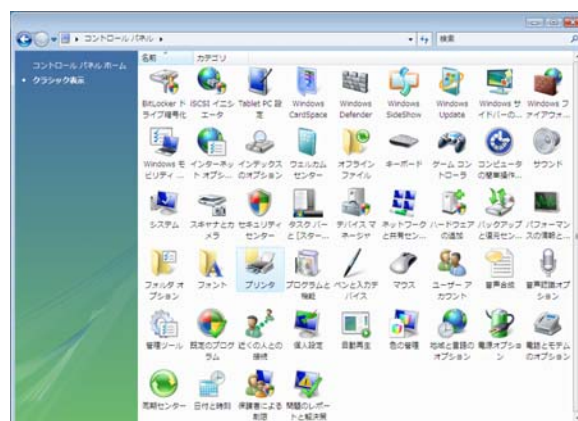


参考

Windows 10 の場合は、画面左下隅に表示される Windows アイコンを右クリックし、[コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開きます。

2

「[プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから「クラシック表示」を選択してください。



参考

Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される「すべてのアプリ」アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて「コントロールパネル」を選択します。

参考

Windows 8.1 の場合は、以下 (1) ~ (2) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面左下隅に表示される「↓」アイコンを選択します。
- (2) [アプリ] 画面にて「コントロールパネル」を選択します。

参考

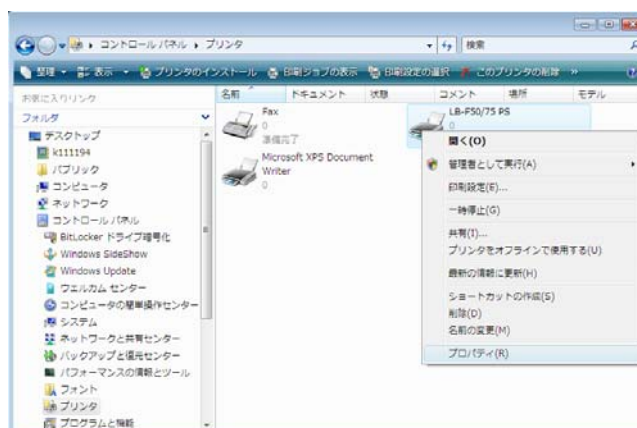
Windows Server 2012/Server 2012 R2 の場合は、「[スタート] 画面にて「コントロールパネル」を選択し、コントロールパネルを開きます。

参考

Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、「[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の場合は、画面右上の「表示方法」を「カテゴリ」から「大きいアイコン」か「小さいアイコン」に変更してください。してください。

3

プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして「プロパティ」を選択します。

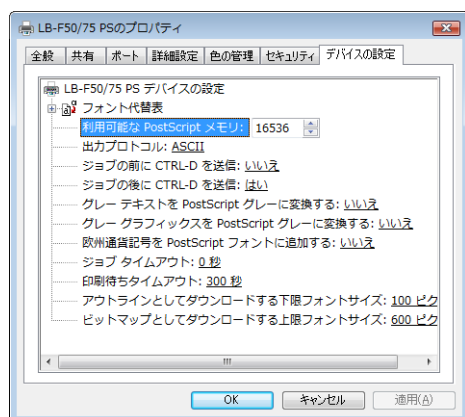




Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012/8.1/Server 2012 R2/10 の場合は、[プリンターのプロパティ] を選択します。同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[プリンターのプロパティ] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

4

[デバイスの設定] タブを選択し、[... デバイスの設定] と表示されている部分をクリックします。さらに右クリックして [バージョン情報] を選択します。



5

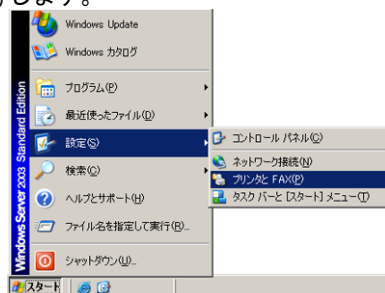
バージョン情報を確認します。



4.3.2 Windows XP/Server 2003 添付 PostScript プリンタドライバ

説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択します。

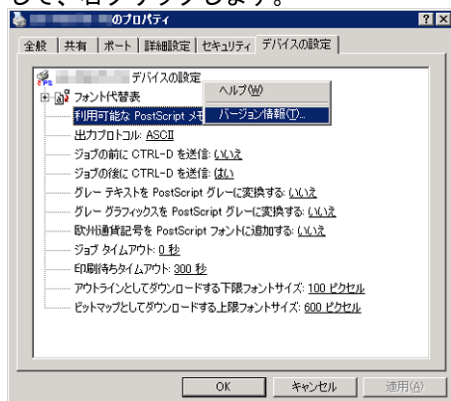


- 2** Windows Server 2003 の場合
プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。
右ボタンをクリックして[プロパティ]を選択します。

Windows XP の場合

プリンタアイコンを選択し、[プリンタのタスク] → [プリンタのプロパティの設定] をクリックします。

- 3** [デバイスの設定] タブをクリックします。さらに
[... デバイスの設定] と表示されている部分を選択
して、右クリックします。



- 4** [バージョン情報] を選択します。



第 5 章

Mac OS X からの印刷

第5章 Mac OS X からの印刷

本章では、Mac OS X 添付 PostScript プリンタドライバのインストール方法とプリンタドライバの設定方法について、Mac OS X v10.2.6 をもとに説明します。



注意

Mac OS X v10.0、Mac OS X v10.1 には対応しておりません。
Mac OS X のバージョンは v10.2.6 以降にアップデートすることをおすすめします。

5.1 プリンタ記述（PPD）ファイルのインストール

Mac OS X 添付 PostScript プリンタドライバ用プリンタ記述（PPD）ファイルをインストールします。



注意

インストールする際、管理者の名前とパスワードが必要になります。



注意

インストーラを起動する前に「プリントセンター」が起動していないことを確認してください。もし起動している場合には、「プリントセンター」を終了してからインストールを開始してください。

1

「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットし、[Mac OS X] フォルダを開きます。

2

「LBFPD.pkg」ファイルをダブルクリックするとインストーラが起動します。



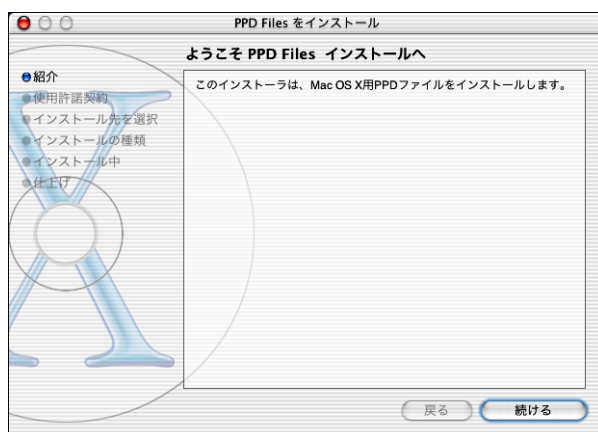
3

管理者名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



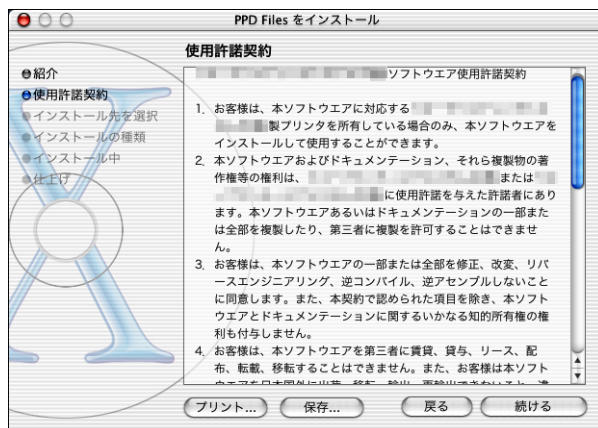
4

[続ける] をクリックします。

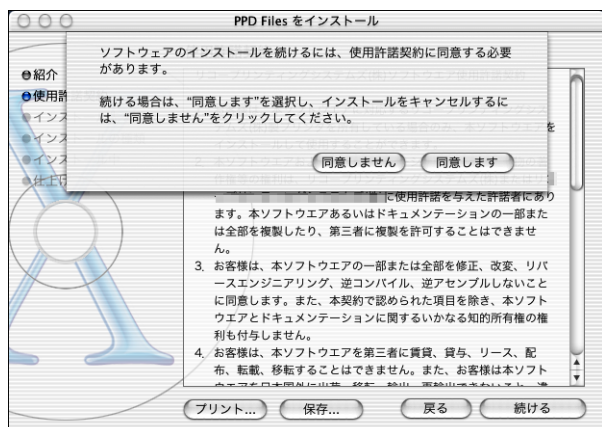


5

[使用許諾契約] をよく読み、[続ける] をクリックします。



- 6** 「使用許諾契約」に同意するかどうかの画面が表示されます。使用許諾に合意する場合は、「同意します」をクリックします。



- 参考** 再インストールおよびアップグレードの際は、下図の表示になります。



- 7** インストール先を選択し、「続ける」をクリックします。



- 9** 「ソフトウェアが正常にインストールされました」というメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。



- 8** 「インストール」をクリックします。



これで PPD ファイルのインストールは終了です。

5.2 プリンタの追加

Mac OS X にプリンタを追加する手順について説明します。

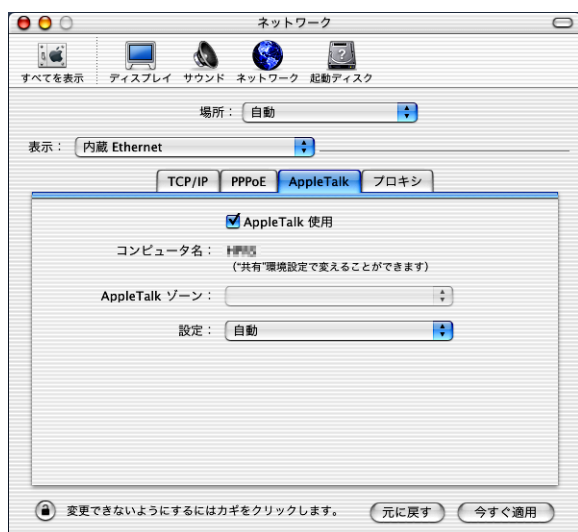


ご使用のプリンタを Mac OS X に追加するには、[AppleTalk プリンタ] または [IP プリンタ] として設定する方法があります。どちらをお使いになるかは、ネットワーク管理者とご相談ください。

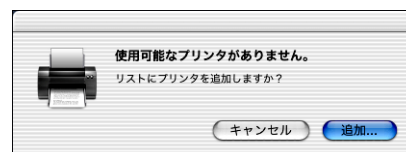
5.2.1 AppleTalk プリンタの追加

1

[システム環境設定] → [ネットワーク] → [AppleTalk] を開きます。[AppleTalk 使用] が選択されていることをご確認ください。



使用可能なプリンタがない場合、下記ダイアログが表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



4

一番上のメニューをクリックし、[AppleTalk] を選択します。



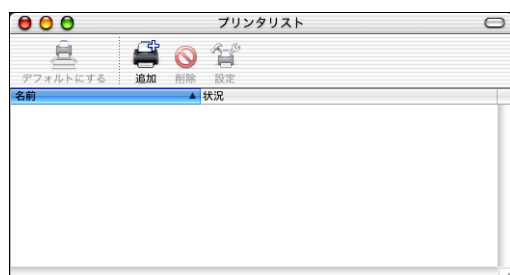
2

起動ディスクの [アプリケーション] → [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] を起動します。



3

[追加] をクリックします。



5

[文字セット] メニューをクリックし、[日本語] を選択します。

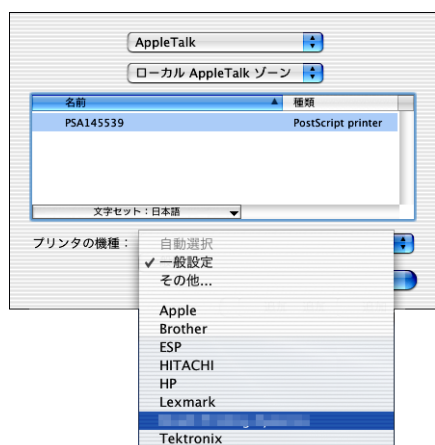


6 プリンタを選択します。



ポイント 工場出荷時のプリンタ名は PSAXXXXXX (XXXXXX はネットワークアドレスの下 6 桁) となっています。ネットワークアドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

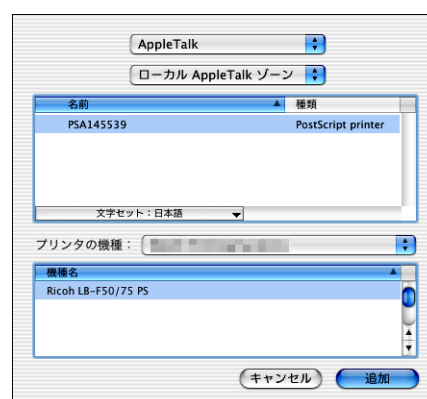
7 [プリンタの機種] メニューから [RICOH INDUSTRY] を選択します。



注意

[自動選択] を使って PPD ファイルを設定するとご使用のプリンタとオプション構成が異なる PPD ファイルが選択されてしまうことがあります。

8 [機種名] を選択して、[追加] ボタンをクリックします。



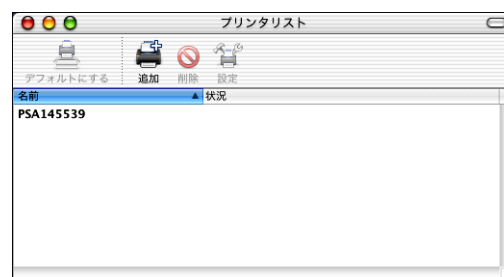
プリンタモデル

Ricoh LB-F 50/75 PS

Ricoh LB-F 75A PS

Ricoh LB-F 100A PS

9 [プリンタリスト] にプリンタが追加されます。



5.2.2 IP プリンタの追加

- 1 [システム環境設定] → [ネットワーク] → [TCP/IP] を開きます。IP アドレスなどが正しく設定されていることをご確認ください



- 2 Web ブラウザを起動して、[IP プリント] 接続用の論理プリンタを新規追加します。[IP プリント] 接続用の論理プリンタを既に登録済みの場合は 3 に進みます。



論理プリンタはプリンタ本体に設定するもので、“postscript”や“vp-pcl”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。論理プリンタに関する詳細は、製品添付の「ユーザズガイド」→「Web インターフェース機能」をご覧ください。



[IP プリント] 接続用の論理プリンタの必須設定項目と設定例を示します。

一般：[名前] → (論理プリンタ名を入力)
 [エミュレーション] → [PostScript]
 [プロトコル] → [TCP/IP] → (選択)
 [プロトコル] → [TCP ポート] → (空き番号を入力)

PostScript：[PostScript I/O モード] → [Raw]



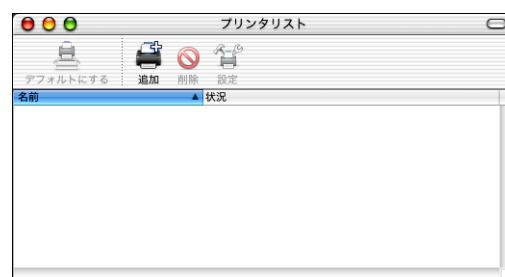
3

起動ディスクの [アプリケーション] → [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] を起動します。

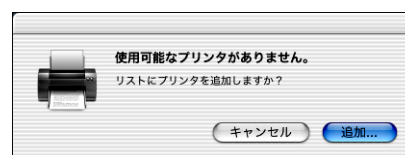


4

[追加] をクリックします。



使用可能なプリンタがない場合、下記ダイアログが表示されます。[追加] ボタンをクリックします。



- 5** 一番上のメニューをクリックし、[IP プリント] を選択します。

IP プリント

プリンタのアドレス：
インターネットアドレスまたは
DNS 名

☒ サーバ上のデフォルトのキューを使う
キュー名：

プリンタの機種： 一般設定

キャンセル 追加

- 6** [プリンタのアドレス] にプリンタの IP アドレスを入力します。

IP プリント

プリンタのアドレス：
インターネットアドレスまたは
DNS 名

163.149.104.27
元ホストで正しいアドレスです。

☒ サーバ上のデフォルトのキューを使う
キュー名：

プリンタの機種： 一般設定

キャンセル 追加

- 7** [サーバ上のデフォルトのキューを使う] のチェックを外し、[キュー] 名に [IP プリント] 接続用の論理プリンタ名を入力します。**2** の例では、論理プリンタ名は “ps_raw” となります。

IP プリント

プリンタのアドレス：
インターネットアドレスまたは
DNS 名

163.149.104.27
元ホストで正しいアドレスです。

☐ サーバ上のデフォルトのキューを使う
キュー名： ps_raw

プリンタの機種： 一般設定

キャンセル 追加

- 8** [プリンタの機種] メニューから [RICOH INDUSTRY] を選択します。

IP プリント

プリンタのアドレス：
インターネットアドレスまたは
DNS 名

163.149.104.27
元ホストで正しいアドレスです。

☐ サーバ上のデフォルトのキューを使う
キュー名： ps_raw

プリンタの機種： 自動選択
✓ 一般設定
その他...
Apple
Brother
ESP
HITACHI
HP
Lexmark
RICOH INDUSTRY
Tektronix

- 9** [機種名] を選択して、[追加] ボタンをクリックします。

IP プリント

プリンタのアドレス：
インターネットアドレスまたは
DNS 名

163.149.104.27
元ホストで正しいアドレスです。

☐ サーバ上のデフォルトのキューを使う
キュー名： ps_raw

プリンタの機種： Ricoh LB-F50/75 PS

機種名
Ricoh LB-F50/75 PS

キャンセル 追加

プリンタモデル

Ricoh LB-F 50/75 PS

Ricoh LB-F 75A PS

Ricoh LB-F 100A PS

- 10** [プリンタリスト] にプリンタが追加されます。

プリンタリスト

名前 状況

ps_raw (163.149.104.27)

5.3 プリンタドライバの設定確認および変更方法

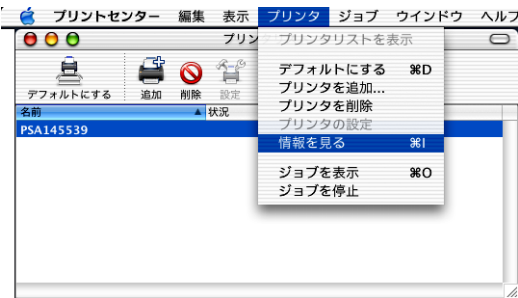
Mac OS X に追加したプリンタに正しく PPD ファイルが設定されているか確認する方法、およびプリンタオプションの設定方法を説明します。

1

起動ディスクの [アプリケーション] → [ユーティリティ] フォルダ内の [プリントセンター] を起動します。

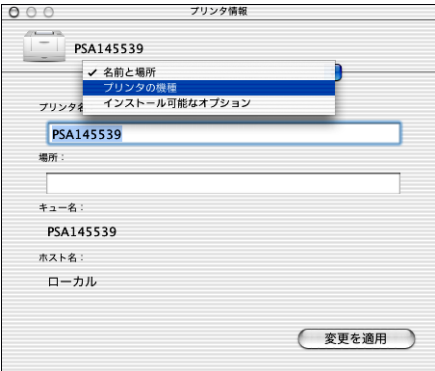
2

お使いになるプリンタ名を選択し、[プリンタ] → [情報を見る] を選択します。



3

一番上のメニューから [プリンタの機種] を選択します。

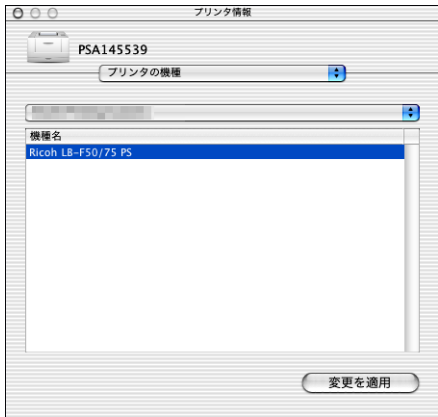


4

[プリンタの機種] 下のメニューにお使いになるプリンタの機種名が表示されていることを確認します。



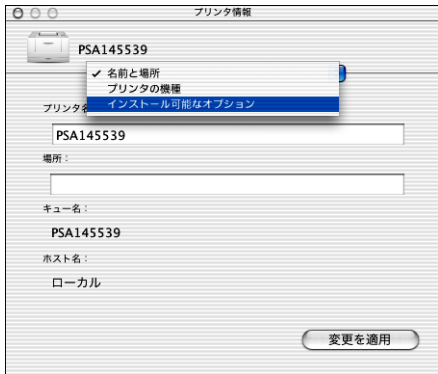
異なる名称が表示されている場合、同メニューで [RICOH INDUSTRY] を選択し、[機種名] を選択します。



プリンタモデル
Ricoh LB-F 50/75 PS
Ricoh LB-F 75A PS
Ricoh LB-F 100A PS

5

次にお使いになるプリンタのオプション設定を確認します。[プリンタ情報] ダイアログの一番上のメニューから [インストール可能なオプション] を選択します。



- 6** 各項目を設定し、[変更を適用] ボタンをクリックします。



- 7** [ウィンドウ] → [閉じる] を選び、[プリンタ情報] ダイアログを閉じます。

- 8** [プリントセンター] → [プリントセンターを終了] を選択します。

5.4 アプリケーションソフトからの印刷

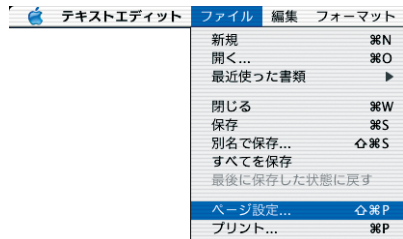
作成した文書をアプリケーションソフトから印刷するには、用紙設定、印刷部数、印刷ページ範囲指定等の印刷設定を行います。以下の項では、プリンタドライバの設定について説明します。

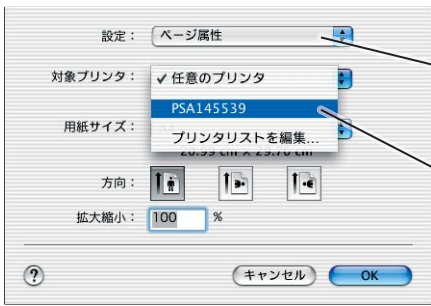

注意

アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバの設定ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定等については、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

5.4.1 ページ設定

ほとんどのアプリケーションソフトでは、[ファイル] メニューの [ページ設定]（または [用紙設定]）を選択することにより、ページ設定ダイアログを開くことができます。





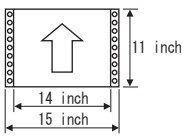
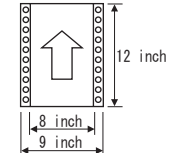
このメニューをクリックしてページ設定オプションを選択します。

お使いになるプリンタを選択します。

ポイント ページ設定の各オプションについては、Mac OS X の [ヘルプ]（オンラインヘルプ）をご覧ください。また、カスタム用紙サイズ設定については「5.6 カスタムサイズ用紙に印刷するには」をご覧ください。

◇ 用紙サイズ
印刷する用紙サイズを選択します。

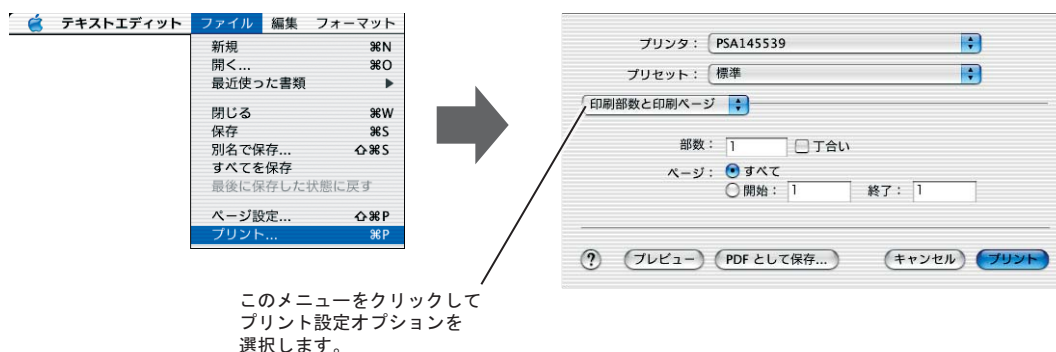
ポイント [用紙サイズ] とプリンタ操作パネルの用紙設定をあわせめます。このとき [用紙サイズ] には用紙両端の送り穴の部分の長さ（1 inch = 25.4 mm）は含まれないようにします。以下に設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	プリンタ操作パネル	プリンタドライバ
	用紙設定	用紙サイズ
15 x 11 (長辺給紙)		15x11 (14x11) inch ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅14 inch 高さ11 inch
9 x 12 (短辺給紙)		9x12 (8x12) inch ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅8 inch 高さ12 inch

参考 カスタム用紙サイズ設定については「5.6 カスタムサイズ用紙に印刷するには」をご覧ください。

5.4.2 プリント設定

アプリケーションソフトからの印刷では、印刷部数、印刷ページ範囲指定等の印刷設定を行います。ほとんどのアプリケーションソフトでは、[ファイル] メニューの [プリント] を選択することで印刷ダイアログを開くことができます。



ポイント プリント設定の各オプションについては、Mac OS X のヘルプ（オンラインヘルプ）をご覧ください。また、プリンタ機能については「[5.5 プリンタの機能](#)」をご覧ください。

ポイント プリント設定ダイアログの設定内容を保存するには、[プリセット] メニューから [別名で保存] を選択します。



注意

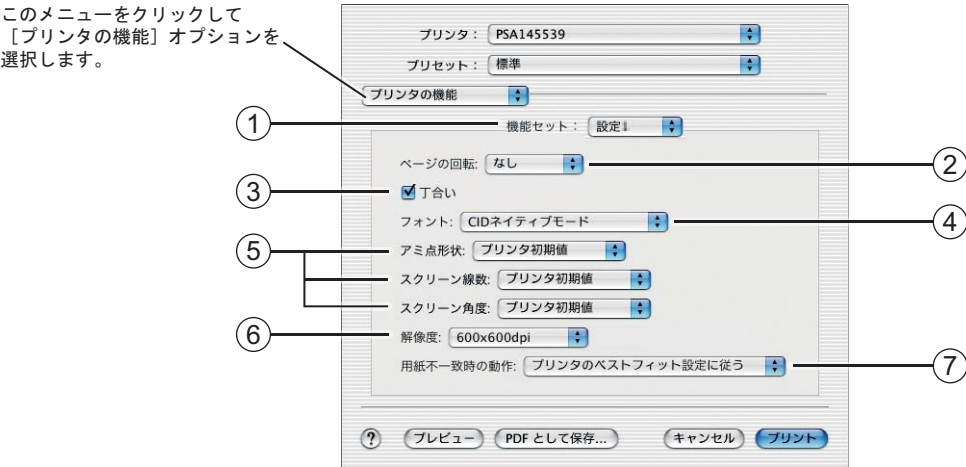
[印刷部数と印刷ページ] の [丁合い] のチェックは外してください。また、アプリケーションソフトによっては、独自に [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスを表示するものがあります。これらのチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。

これらのチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い] の設定が“有効”（初期値）であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。

5.5 プリンタの機能

〔プリンタの機能〕 の設定項目について説明します。プリンタ固有の機能設定をここで行います。

 下図は、すべての項目が見えるように画像修正してあり、プリンタモデルごとに表示内容は異なります。

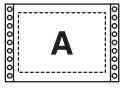
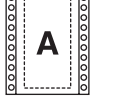
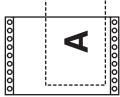
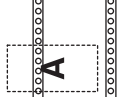
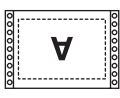
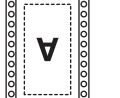
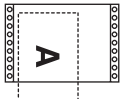
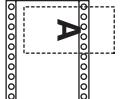


従来の Mac OS 対応プリンタドライバでは、お互いに組み合わせることができないオプション機能は同時に選択することができませんでした。しかし、Mac OS X 対応プリンタドライバでは、同時に組み合わせることもできないオプション機能もすべて選択できてしまいます。本来組み合わせできないプリンタ機能を選択した場合、正しく印刷されませんのでご注意ください。

- ① 機能セット
〔機能セット〕 の表示を切替えます。
〔機能セット〕 は、〔設定 1〕 ～ 〔設定 2〕 にグループ分けされています。

- ② ページの回転
通常は〔なし〕を選択します。ページを回転して印刷する場合は、回転角度を指定します。

 〔なし〕 の場合を基準として、印刷結果の一例を示します。

ページの回転	印刷結果	
	 長辺給紙	 短辺給紙
なし		
90度		
180度		
270度		

③ 丁合い

チェックボックスを選択すると、文書を複数部数印刷するときに、各部ごとにページ順で印刷を行います。チェックボックスを選択しない時は、各ページごとに指定部数分の印刷を行います。



注意

アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログに「部単位で印刷」または「丁合い」のチェックボックスが現われるものがあります。複数部数印刷する場合は、印刷ダイアログの「部単位で印刷」または「丁合い」のチェックは必ず外してください。このチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへのデータ転送量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。

④ フォント

通常は「CID ネイティブモード」を選択します。OCF フォントを使用する場合や文字の印刷に関して問題が発生した場合には「OCF コンパチブルモード」へ切り替えてください。

⑤ アミ点形状、スクリーン線数、スクリーン角度

ハーフトーン処理を行うときのアミ点形状、線数、角度を指定します。「スクリーン線数」「スクリーン角度」で「プリンタ初期値」以外の値を指定するには、まず「アミ点形状」で「プリンタ初期値」以外の形状を選択してください。



ポイント

スクリーン線数とスクリーン角度は、それぞれの値とプリンタ解像度との相互関係により変化します。このため、「スクリーン線数」「スクリーン角度」の指定値と、実際の印刷結果が異なる場合があります。また、アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバでの「アミ点形状」「スクリーン線数」「スクリーン角度」の指定を無効にするものがあります。

⑥ 解像度

プリンタの解像度を指定します。

⑦ 用紙不一致時の動作

アプリケーションソフト上の用紙サイズとプリンタにセットされている用紙サイズが異なる時の動作を指定します。

通常は「プリンタのベストフィット設定に従う」を選択し、プリンタのベストフィット設定により印刷させます。「プリンタにセットされている用紙で印刷」を選択した場合は、プリンタのベストフィット設定に関わらず常に現在プリンタにセットされている用紙で印刷されます。

5.6 カスタムサイズ用紙に印刷するには

！ **ポイント** プリンタ操作パネルの [プリンタ設定] → [用紙設定] → [用紙サイズ] で、カスタム用紙のサイズを設定します。プリンタの操作パネルの操作方法については製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

参考 プリンタ操作パネルの [プリンタ設定] → [ポストスクリプト] → [ベストフィット] の設定を印刷条件に応じて変更します。ベストフィット機能は、アプリケーションソフト上の用紙サイズと異なる用紙に印刷する場合に有効です。詳しくは製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

1 アプリケーションソフトから [ファイル] → [ページ設定]（あるいは [用紙設定]）を選択します。

2 [カスタム用紙サイズ] を選択します。



3 [新規] ボタンをクリックし、任意の用紙サイズ名称を入力します。



4 用紙サイズの [幅] と [長さ] を入力し、[保存] をクリックします。[OK] ボタンをクリックすると、用紙サイズの一覧にカスタムページ名が追加されます。



！ **ポイント** 用紙両端の送り穴の部分の長さ (1 inch = 25.4mm) は引き算します。以下に設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	給紙のイメージ	入力値	
		幅	高さ
14 x 11 長辺から出力		13 inch	11 inch
11 x 14 短辺から出力		10 inch	14 inch

5 [ページ属性] を選択して、[用紙サイズ] リストから追加したカスタム用紙サイズ名を選択します。必要に応じて [方向] を指定します。



6 [OK] ボタンをクリックしてページ設定ダイアログを閉じます。

RICOH